

春日市自然環境マップ等
作成業務報告書

平成24年3月
春日市

報告書 目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 第1章 業務の概要 | 1 |
| 1. 業務の目的..... | 1 |
| 2. 調査における作業体制..... | 1 |
| 3. 業務内容..... | 2 |
| (1) 動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）..... | 2 |
| (2) 指標種調査（前回調査を基にした動植物の調査対象種）..... | 4 |
| 1) 調査対象種の選定..... | 4 |
| 2) 調査方法..... | 6 |
| 3) 指標種のデータ管理・とりまとめ..... | 9 |
| (3) 小学校副読本の作成..... | 9 |
| (4) 自然観察会等の開催..... | 10 |
| | |
| 第2章 調査結果 | 11 |
| 第1節 動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）..... | 11 |
| 1. 現地調査の実績..... | 11 |
| 2. 植物群落..... | 21 |
| 3. 植物相..... | 25 |
| 4. 動物相..... | 43 |
| 5. 希少種..... | 64 |
| 6. 外来生物..... | 71 |
| 7. 春日市の自然環境の総括..... | 76 |

第1章 業務の概要

1. 業務の目的

本業務は、緊急雇用創出事業の一環として行うもので、春日市内の自然環境の現状及び変化の状況を把握し、今後環境行政に資するための基礎資料並びに学校教育の教材等市民啓発のための資料を得ることを目的とする。

2. 調査における作業体制

本業務は、緊急雇用対策の一環として行うものであり、以下の表に示す作業分担の上、業務を遂行した。

■表1 業務内容と作業分担の概要

| 調査作業内容 | 受託者 (財団法人 九州環境管理協会) | 新規 雇用者 |
|-----------------------------------|------------------------|----------------------|
| 1. 動植物相調査 (動植物の実態調査並びに情報整理) | ◎ ・ 現地調査 | ○ ・ 現地調査補助 |
| 2. 指標種調査 (前回調査*を基にした動植物の調査対象種) | | |
| (1) 調査対象種の選定 | ◎ ・ 種の選定 | |
| (2) 調査方法 | ○ ・ 調査方法の決定 | ◎ ・ 現地調査 ・ ヒアリング |
| (3) 指標種のデータ管理・とりまとめ | ○ ・ とりまとめ指示 ・ データ管理 | ◎ ・ データ入力 ・ 情報図作成 |
| 3. 小学校副読本の作成 | ○ ・ 作成方針の決定 | ◎ ・ データ編集 |
| 4. 自然観察会等の開催 | | |
| (1) 自然観察会等の開催 | ◎ ・ 会の内容決定 ・ 現地指導 | ○ ・ 運営補助 |
| 5. 調査結果報告書のとりまとめ | ○ ・ とりまとめ方針の決定 | ◎ ・ とりまとめ |
| 6. その他 1. から 5. に関する事務 | ◎ ・ 就労管理 | |

◎：作業主体、○：作業補助

※前回調査：「春日市自然環境マップ等作成業務報告書」平成16年3月 (株)プレック研究所の内容を指す。

3. 業務内容

(1) 動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）

春日市内の主要な調査対象地（前回調査対象地点）で調査を行った。

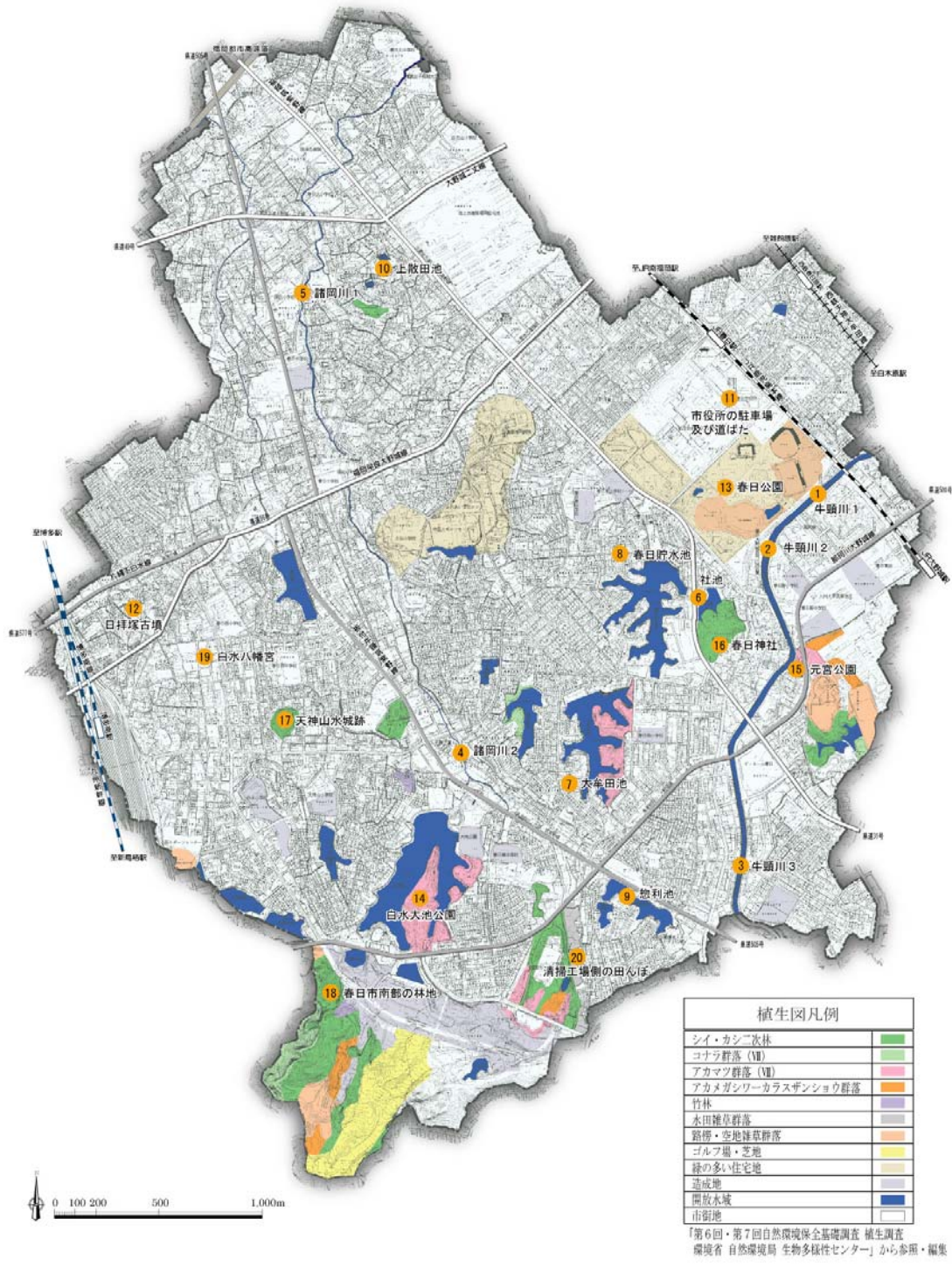
調査項目は野生に見られる植物と動物（哺乳類、鳥類、は虫類、両生類、魚介類、昆虫類）とし、植栽された樹木や草花は調査対象から除外した。

■表2 主要調査対象地

| 場 所 | 環 境 | 場 所 | 環 境 |
|--------------|-----|-----------|-------|
| 牛頸川（1、2、3） | 川 | 春日公園 | 公園 |
| 諸岡川（1、2） | 川 | 白水大池公園 | 公園・溜池 |
| 社池 | 溜池 | 元宮公園 | 公園 |
| 大牟田池 | 溜池 | 春日神社 | 山林 |
| 春日貯水池 | 溜池 | 天神山水城跡 | 山林 |
| 惣利池 | 溜池 | 春日市南部の林地 | 山林 |
| 上散田池 | 溜池 | 白水八幡宮 | 社寺 |
| 市役所の駐車場及び道ばた | 市街地 | 清掃工場側の田んぼ | 田んぼ |
| 日拝塚古墳 | 公園 | | |

■表3 調査項目と調査時期

| 項 目 | 調 査 時 期 | |
|--------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 植物 | H22年10月（秋季） | H23年5月、6月（春季） H23年8月（夏季） |
| 動物（哺乳類、鳥類、 両生類、は虫類、 昆虫類） | H22年10月（秋季） H22年2月（冬季） | H23年5月、6月（春季） H23年8月（夏季） |
| 魚介類 | H22年11月（秋季） | H23年5月（春季） |



■図1 主要調査地点位置図

(2) 指標種調査（前回調査※を基にした動植物の調査対象種）

1) 調査対象種の選定

環境指標性や市民の環境保全意識の啓発面からの視点を考慮し、以下に示す考え方にに基づき調査対象種の選定を行った。

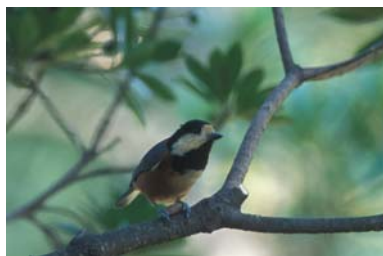
①環境指標性の高いもの

樹林地のほとんどない市街地であっても、公園や緑道の配置、整備の方法により、後背・隣接する山地、水辺から様々な生物を呼び込むことができる。

良好な都市環境に生息するとされる生物のうち、生息環境条件に関する知見が多く、一般の人にも同定しやすい種を選定した。

【調査対象種①】

- ・ シジュウカラ：生息拠点となる樹林率 30%以上、移動可能環境での樹林率 5%以上を目安とする樹上性鳥類
- ・ ヤマガラ：面積 10ha 以上のまとまった樹林地を生息環境とする鳥類
- ・ カワセミ：開放水面かつ水のある水路周辺に生息する鳥類
- ・ カヤネズミ：定期的な草刈り等により維持・管理された草地に生息するネズミ類



ヤマガラ



カヤネズミの巣

※前回調査：「春日市自然環境マップ等作成業務報告書」平成 16 年 3 月（株）プレック研究所の内容を指す。

②環境教育的価値の高いもの

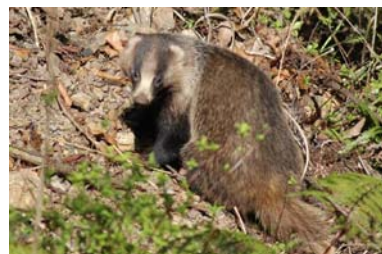
生物多様性を損なう原因として問題視される外来生物、活動時間帯や目線が異なるなどの理由から、知っていなければ生息していることにすら気づかない身近ないきものなど、自然環境に目を向けるきっかけとなる種を選定した。

【調査対象種②】

- ・ タンポポ : 外来種と在来種の分布状況により、本市における外来種の侵入状況とその影響を把握する。
- ・ メダカ : 馴染み深い種だが、水質の悪化や生息環境の変化により希少種に指定されている。溜池等水辺環境の多い本市における生息状況を把握する。
- ・ アオバズク、フクロウ : 営巣木としてうろのある大径木が必要だが、環境が整えば市街地及びその周辺にも生息するため、本市における生息状況を把握する。また、姿が見えなくても鳴き声で生息の判断ができる。
- ・ ウグイス : 樹林地の林縁部に生息する。誰にでも判定できる鳴き声から市民にとっても馴染み深い身近な種の1つである。
- ・ カササギ : 近年分布域を広げている種。市街地でも営巣するなど市民にも身近な種(福岡県 RDB※掲載種)。
- ・ 中型哺乳類 : タヌキ、アナグマ、イタチ、ウサギなどは市街地近辺にも生息していることが多く、市民にも比較的なじみの深い動物である。これらの分布を整理することにより自然への関心を深める。
- ・ カモ類 : 溜池等水辺環境の多い本市では、冬鳥として渡来するカモ類は観察しやすい身近な野生動物である。どのような種がどこで見られるのか情報収集する。



カササギ



中型哺乳類(アナグマ)

※ RDB：レッドデータブックー絶滅のおそれのある野生生物についてとりまとめた資料。

③希少な動植物

「春日市自然環境マップ等作成業務報告書（平成 16 年 3 月）」において、春日市内で生育が確認されている RDB 掲載種を選定した。

【調査対象種③】

- ・オニバス : 環境省 RDB（絶滅危惧Ⅱ類）、福岡県 RDB（絶滅危惧ⅠB類）
- ・モウセンゴケ : 福岡県 RDB（絶滅危惧Ⅱ類）
- ・ツクシナルコ : 環境省 RDB（絶滅危惧Ⅱ類）、福岡県 RDB（絶滅危惧Ⅱ類）
- ・カワヂシャ : 環境省 RDB（準絶滅危惧）、福岡県 RDB（準絶滅危惧）
- ・ベニイトンボ : 環境省 RDB（絶滅危惧Ⅱ類）



オニバス



ベニイトンボ

2) 調査方法

調査担当者が実際に現地調査を行う際には、調査対象種の同定に必要な資料を準備するとともに、野外にて専門職員による調査手順、野帳記入方法等の実施要領並びに、対象種及びその生息・生育環境を示す写真の撮影方法の説明を受けた。

■表 4 調査要領 その1

| 種名 | 調査地点 | 調査方法 | 調査時期 |
|-------------------|--|--|----------------------|
| シジュウカラ | 樹林地のある公園、 街路樹、社叢林、溜 池周辺等 | 調査対象地域内を歩きながら、 目視、鳴き声により確認。 | H23年4月（繁殖期） |
| ヤマガラ | 樹林地のある公園、 街路樹、社叢林、溜 池周辺等 | 同上 | 同上 |
| カワセミ | 河川（牛頸川、諸岡 川等）沿線および溜 池 | 河川、溜池の外周を可能な範囲 で歩きながら確認。 | H23年5月～7月 |
| タンポポ （外来種、在来種） | 公園および街路 | 公園、街路を目視で行った。 | H23年4月～5月 （両種開花期） |
| メダカ | 河川（牛頸川、諸岡 川等）・用水路沿線 および溜池と周辺水 路 | 〈河川・用水路〉 河川・用水路沿いを踏査しなが ら（牛頸川は右岸・左岸で踏 査）、堰上のよどみ等、流速の 遅い場所で目視、手網による確 認を行った。 〈溜池・周辺水路〉 対象地域を踏査し、目視、手網 による確認を行った。 | H23年4月～7月 |
| アオバズク フクロウ | 社寺の社叢林 | 社寺関係者、周辺住民へのヒア リングおよび目視観察。 | H23年5月 |
| ウグイス | 樹林地のある公園、 社叢林、溜池周辺等 | 調査対象地域内を歩きながら目 視、鳴き声により確認。 | H23年4月 |
| カヤネズミ | 河川（牛頸川、諸岡 川等）沿線および溜 池 | 河川、溜池の外周を可能な範囲 で歩きながら確認。 | H22年12月 ～H23年2月 |

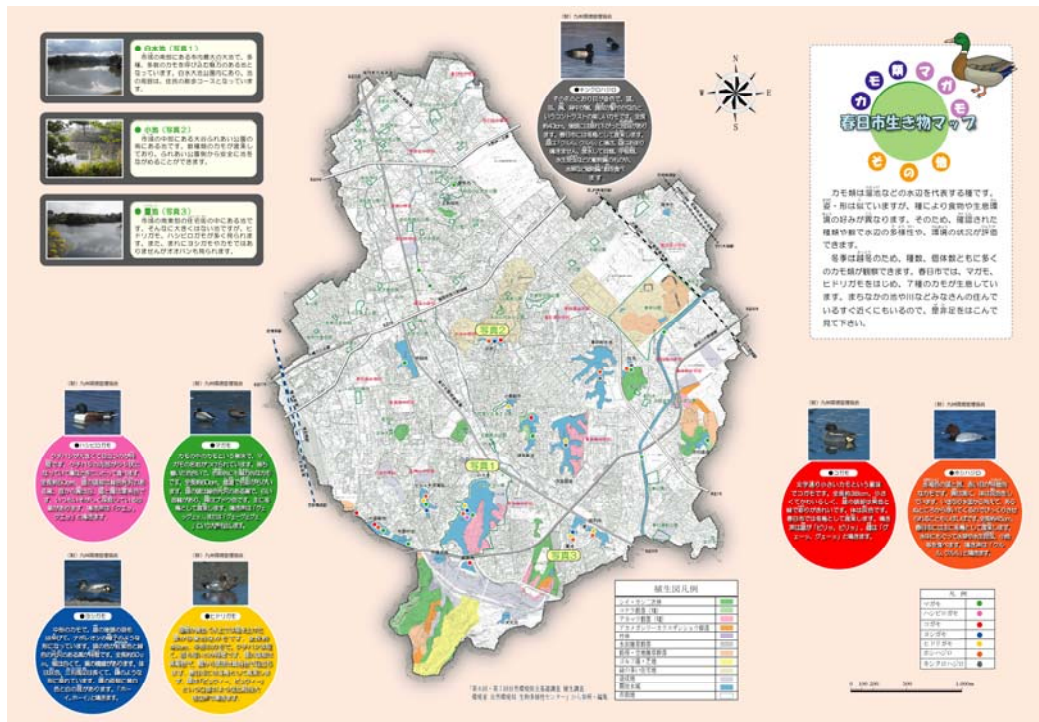
■表 5 調査要領 その2

| 種名 | 調査地点 | 調査方法 | 調査時期 |
|------------------------------|--------------------------|---|--------------------|
| カササギ | 樹林地のある公園、社叢林及び電柱、鉄塔等 | 調査対象地域内を目視により巣を探し、電力会社へのヒアリング結果をとりまとめた。 | H22年11月 ～H23年2月 |
| 中型哺乳類 (タヌキ、イタチ、ウサギ、イノシシ等) | 春日市全域 | 道路等野生動物の轢死体処理の記録を整理し入力。 | H22年～H23年 |
| カモ類 | 河川(牛頸川、諸岡川等)沿線および溜池と周辺水路 | 河川・溜池・周辺水路の外周を可能な範囲で歩きながら確認する。 | H22年12月 ～H23年1月 |
| オニバス | 社池 | 目視調査 | H23年5月～8月 |
| モウセンゴケ | 春日貯水池 (北側土手) | 同上 | 同上 |
| ツクシナルコ | 社池、白水池、大牟田池 | 同上 | 同上 |
| カワヂシャ | 牛頸川 (御潮井橋付近) | 同上 | 同上 |

3) 指標種のデータ管理・とりまとめ

指標種調査で使用する地図の作成や、野帳の作成・管理、得られたデータの整理、電子データの入力は調査担当である新規雇用者が行い、作業は、調査前後や現地調査の合間に行った。

とりまとめは5万分の1の縮尺の地図上に整理し、各種の確認地点を「春日市生き物マップ」として作成し、小学校副読本の添付資料として整備することとした。



春日市生き物マップの一例

(3) 小学校副読本の作成

「指標種調査（前回調査を基にした動植物の調査対象種）」、「動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）」、「自然観察会等の開催」等の調査の際に得られた情報を整理し、小学校副読本の作成を行った。

副読本の内容については、小学校高学年（5～6年生）を対象に、できるだけ子ども達が自分の意思で野外に出向き、自分の目で確認できるように、地図をベースにしたとりまとめを行った。

小学校副読本のとりまとめ概要

<目次>

- ・春日市の自然
- ・みどりはたらき
 - －山や林がなくても、公園や街路樹を利用して多くの生物が生活している。
- ・水辺のはたらき
 - －川や溜池は生物の重要な生息環境である。
- ・まちに適応したいきもの
 - －都市部の環境を利用して積極的に生息域を広げている生物もいる。
- ・貴重ないきもの
- ・春日市の公園に出かけよう
 - 春日公園、白水大池公園、奴国の丘歴史公園
- ・春日市生き物マップ

(4) 自然観察会等の開催

1) 自然観察会の開催

自然環境の保全・活用を進めていくためには市民の意識を高め、自ら率先して身近な環境を監視していく仕組みづくりが大切である。特に年齢の低い子ども達にとっては、小さい頃から自然に親しむ機会を持つことは重要な意味を持つ。

自然環境に対する啓発を行うため、市内の主要な公園である「春日公園」、「白水大池公園」、「奴国の丘歴史公園」の3箇所において、自然観察会を実施した。

■表6 自然観察会の実績

| 場 所 | 日 時 | 観 察 内 容 |
|----------|----------------|------------------------|
| 春日公園 | 平成22年11月27日(土) | 春日公園に生息する野鳥の観察 |
| | 平成23年5月14日(土) | 春日公園に生息する野鳥の観察 |
| 白水大池公園 | 平成22年12月4日(土) | 白水大池公園に生息する野鳥の観察 |
| | 平成23年5月21日(土) | 白水大池公園に生息する野鳥の観察 |
| 奴国の丘歴史公園 | 平成22年12月11日(土) | 奴国の丘歴史公園及び近隣に生息する野鳥の観察 |




第2章 調査結果

第1節 動植物相調査（動植物の実態調査並びに情報整理）



1. 現地調査の実績

現地調査地点は、平成15年度の春日市自然環境マップ等作成業務の調査地点を踏襲し、春日市内20箇所とした。各調査地点の概要および調査実施日を■表7に示す（調査地点位置は第1章の■図1を参照）。



■表 7 調査地点の概要

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|---------|----|---|
| 1 | 牛頸川 1 | 川 | <p>春日公園、ハローワークに隣接する市街地中の河川で、護岸、舗装に囲まれ、日影がない。転倒堰のため止水環境となっている。</p> <p>堰の下流側は中流環境がもどり、ツルヨシ、アカメガシワがみられる。下流側の瀬にはミシシippアカミミガメがみられる。</p>  |
| 2 | 牛頸川 2 | 川 | <p>小学校前の中流河川。砂州、大岩、早瀬、オオタチヤナギ、淵などの環境要素がみられ、発達するツルヨシ群落周辺には、ハグロトンボがみられる。</p> <p>周辺部には緑の多い住宅地、緑地（御供田緑地）などの要素がみられる。</p>  |
| 3 | 牛頸川 3 | 川 | <p>ツルヨシの茂る中流河川。</p> <p>ツルヨシ、メダケなどの間の草地にはシロバナサクラタデなどがみられる。河川敷にはアカメガシワ低木が多い。河床には花崗岩が露岩し、所により礫底、早瀬と浅い淵などの変化がある。オイカワが多く、流れこみなどにマユタテアカネがみられる。</p> <p>河岸路傍にはユキヤナギ、アベリア等が植栽されている。</p>  |



※調査地点の位置は p3 「■図 1 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|---------|----|---|
| 4 | 諸岡川 2 | 川 | <p>白水大池公園の北側にあたる。親水公園の修景にシダレヤナギ、ハギ類、ヒラドツツジ、ランタナなどが植栽される。上流側には水田が残存する。上流川の明るい河川堆積地湿地にはミゾソバ、ジュズダマ、イヌビエ、ヌカキビ、イボクサが生育する。石積み護岸では北向き側にのみイノモトソウ、ヨメナ、シロバナセンダングサ、ノキシノブ、ヌカキビなどがみられた。</p> <p>水路は概ね3面張で水質は中下流的で有機物が底に付き、部分的に少量の砂が堆積している。下流域では堆積が少なく、また住宅地内で半陰で、流域にはマコモ、イヌビエなどが少量生育している程度であった。底固めに抜き穴配慮があり、礫底となり、カワニナ、トウヨシノボリが生息する。</p>  |
| 5 | 諸岡川 1 | 川 | <p>須久小学校に隣接する。ブロック積み3面張水路で幅5m程。水質は中下流的であるが、特に顕著な悪化はみられない。水量は少なく、砂等の堆積がなく、カワニナ等もみられない。</p> <p>周辺に小面積の水田があり、ヌマガエル、アマガエルなどの個体数は比較的多い。</p>  |

※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|---------|----|---|
| 6 | 社池 | 溜池 | <p>スイレンが茂る自然的な溜池。池畔林はコナラ、アラカシなど。 アオイトトンボ、コシアキトンボなどトンボ類がみられた。 春日神社自然林のバッファゾーン（緩衝帯）としても重要。林内にはミミズバイが多く、コクランもみられる。春日神社社叢より、一般観察に適する。</p>  |
| 7 | 大牟田池 | 溜池 | <p>周囲はアカマツ林であるが、松枯れ被害が顕著で、倒壊ギャップにウラジロ、コシダが生育する。 林内にはヤブツバキ、タブノキなど照葉樹林の普通種もみられないなど単純化が顕著。 地域では少ない抽水植物群落が小面積みられ、イヌクログワイ群落がみられるほか、リターパック（腐植質層）、植物カバーなどの環境も良好で、カワヒナがみられる。 溜池堤防内側はブロック張りとなる。</p>  |


※調査地点の位置は p3 「**図 1** 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|---------|----|---|
| 8 | 春日貯水池 | 溜池 | <p>池畔はアカマツ林主体の樹林地で、コナラパッチを含む。</p> <p>林内にはコシダ、シャシャンボ、ヒサカキ、ワラビ、ナキリスゲ、アカメガシワ、ハゼノキなどが見られるほか、一部にネザサ・ススキ草地がみられる。また、エノキ、ハゼノキが混生するアカメガシワ群落等がみられる。</p> <p>堤防はメリケンカルカヤ、タチスズメノヒエ、アメリカスズメノヒエなど外来種主体の草地である。</p>  |
| 9 | 惣利池 | 溜池 | <p>周囲はシイ林、コナラ林で、胸高直径約 30~40cm 程度。透明度は高く、底質は花崗岩風化砂、若干の泥が混じる。</p> <p>オオカナダモが堤防からの視野で 1/2 を覆う。ブルーギルが目視される。</p>  |




※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|--------------|-----|---|
| 10 | 上散田池 | 溜池 | <p>岡本コミュニティ供用施設前の盤石池は人工的な池で、水深 10～30cm、水質は茶褐色、透視度約 40cm 程度。底は泥底である。スイレンが繁茂し、カダヤシ、コイがみられる。植栽木として、アラカシ、ナンキンハゼ、ユリノキ、コナラ、ソメイヨシノなどがみられる。</p> <p>上散田池は住宅地と資料館に挟まれ、ヤマモモ、ヒメユズリハ、アラカシ、クスノキ、ソメイヨシノが植栽される。流れ込み付近も庭園風の整備がなされる。キショウブ、ウシガエル、アカミミガメ、ヌマガエルなどがみられた。</p> <p>付近にオオバヤドリギが生育する熊野神社がある。ここではクスノキ・スダジイ林があり、ミミズバイ高木がみられる。</p> <p><上散田池></p>  <p><盤石池></p>  |
| 11 | 市役所の駐車場及び道ばた | 市街地 | <p>舗装地が多く、街路樹緑地、花壇に路傍雑草が生育する。植物は帰化植物が多く、他の小動物も少ない。</p>  |

※調査地点の位置は p3 「**図 1** 主要調査地点位置図」を参照


| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|---------|------|---|
| 12 | 日拝塚古墳 | 公園 | <p>古墳に隣接して小公園が設置される。定期的に草刈される住宅地中の小規模なシバ地である。 植栽にエノキ、クロガネモチ、ソメイヨシノ、モミジバフウ、サツキなどがみられる。</p>  |
| 13 | 春日公園 | 公園 | <p>マテバシイ、ムクノキ、クスノキ、クヌギ、アキニレ、アラカシ、アカマツ等多様な植栽木がみられる。モミジバフウ等外来樹種も多い。 他に田んぼビオトープ、日本庭園など多様な環境がみられる。 昆虫類、鳥類も良く目に付く。</p>  |
| 14 | 白水大池公園 | 公園溜池 | <p>溜池公園で周遊歩道がある。池畔林はアカマツ林が主体で、松枯れ被害があり、胸高直径 40~45cm 程度、コナラで 40cm、他、高木にアラカシ、クロキ、ヤマハゼ、林下にネジキ、ヒサカキ、ハゼノキ、コシダがみられるが林の構成は単純である。 ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、モズ、アオサギの休息などが観察された。水域では、冬季にはカモ類が飛来し、水際に矮生湿生草木群落が発達する。 他に草刈で維持されるチガヤ草地などがみられる。</p>  |


※調査地点の位置は p3 「**図 1** 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|------------|----|--|
| 15 | 元宮公園 | 公園 | <p>林内は清掃管理がされている。株立ちのシイ・カシ林で、イチイガシ、カゴノキなどが混生する。</p> <p>林底にはナキリスゲ、ササクサ、ミミズバイなどがみられる。ホタルガ、ササキリなど少数の昆虫もみられた。</p>  |
| 16 | 春日神社 | 山林 | <p>照葉樹の準自然林、大径木があり、アオバズクの渡来が知られる。他にアナグマの痕跡が得られた。</p> <p>直径 50cm 程度のスダジイや、ツブラジイなどが高木層にみられ、下層の被度は比較的高く、時に低木層が 50% となる。ミミズバイが多く、シロバイ、センリョウ、オオカグマも多い。社叢林ではあるが、イチイガシが混生する。</p> <p>駐車場の造成等により、二次的な林分ではあるが、辺縁部が縮小している。</p> <p>森林伐採部は白いコンクリート噴きつけが露出し、むき出しになっている。</p>  |
| 17 | 天神山 水城跡 | 山林 | <p>ツブラジイの二次林で胸高直径 35~40cm で株立ちとなる。他にカクレミノ、ハゼノキ、クスノキ、アラカシ、アカマツ (φ 30cm) コナラ (φ 35cm) などがみられる。出現種は白水八幡と補い合い、ミミズバイが多いほか、カクレミノ、ナナミノキ、オオカグマ、ヤブコウジなどが生育する。</p> <p>ソメイヨシノ、ヒラドツツジなどが植栽される。</p>  |

※調査地点の位置は p3 「**■**図 1 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|----------|----|---|
| 18 | 春日市南部の林地 | 山林 | <p>シイ・カシ二次林、中原大池にはハスの群生が広くみられ、地域的には最大規模の低湿地となるが、付近に新規道路工事もあり、埋立てが進行している。</p> <p>路傍や造成地の荒地雑草群落はセイタカアワダチソウ、ブタクサ、アキノエノコロ、メドハギ、クズなどの他、緑化材のマメ科植物が生育する。</p> <p>山林の土壌は花崗岩風化土で、表土は薄い。高木層にクスノキ（胸高直径 60cm、クリ同 45cm、アラカシ株立ち同 30cm、ツブラジイ株立ち同 35cm）などが生育し、林床にはツワブキ、ベニシダ、ヤブムラサキ、クロキ、ネズミモチ、ヤマフジ、アラカシ、ヒサカキなどがみられる。</p> <p>林縁にはわずかにクマノミズキ、エノキが混生するアカメガシワ群落があり、ヤマノイモ、ヘクソカズラなどのつる植物が生育し、メジロ、イノシシ（足跡）などがみられた。</p>  |
| 19 | 白水八幡宮 | 社寺 | <p>下層が取り払われた社叢林で、地域に親しまれる社寺である。</p> <p>高木層にクスノキ、スダジイ、イチイガシ、ホルトノキ、クロガネモチ、コバンモチ、ヤブツバキ、タブノキなど比較的多様な種がみられ、スダジイが優勢でアラカシがない。</p> <p>下層にはミミズバイ、リンボクなどが残る。潜在植生の組成をとどめた構成とみられる。</p> <p>大径木はやや少なく、樹洞等は少ない。</p>  |

※調査地点の位置は p3 「 図 1 主要調査地点位置図」を参照

| 調査地点 | 主要調査対象地 | 環境 | 調査地点の概要 |
|------|-----------|-----|---|
| 20 | 清掃工場側の田んぼ | 田んぼ | <p>住宅地と低い樹林帯に挟まれた開放的な浅い谷戸の水田で、サトイモ畑、素掘り水路、放棄畑などの環境要素がみられる。</p> <p>道路側は3面張水路となる。山林はツブラジイ林、ヒノキ植林よりなり、林内は乾燥する。</p> <p>水田ではヌマガエル、トゲヒシバツタ、ハネナガイナゴ、アメリカザリガニ、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）などがみられた。タカサブロウなど在来の水田雑草も残存する。</p>  |

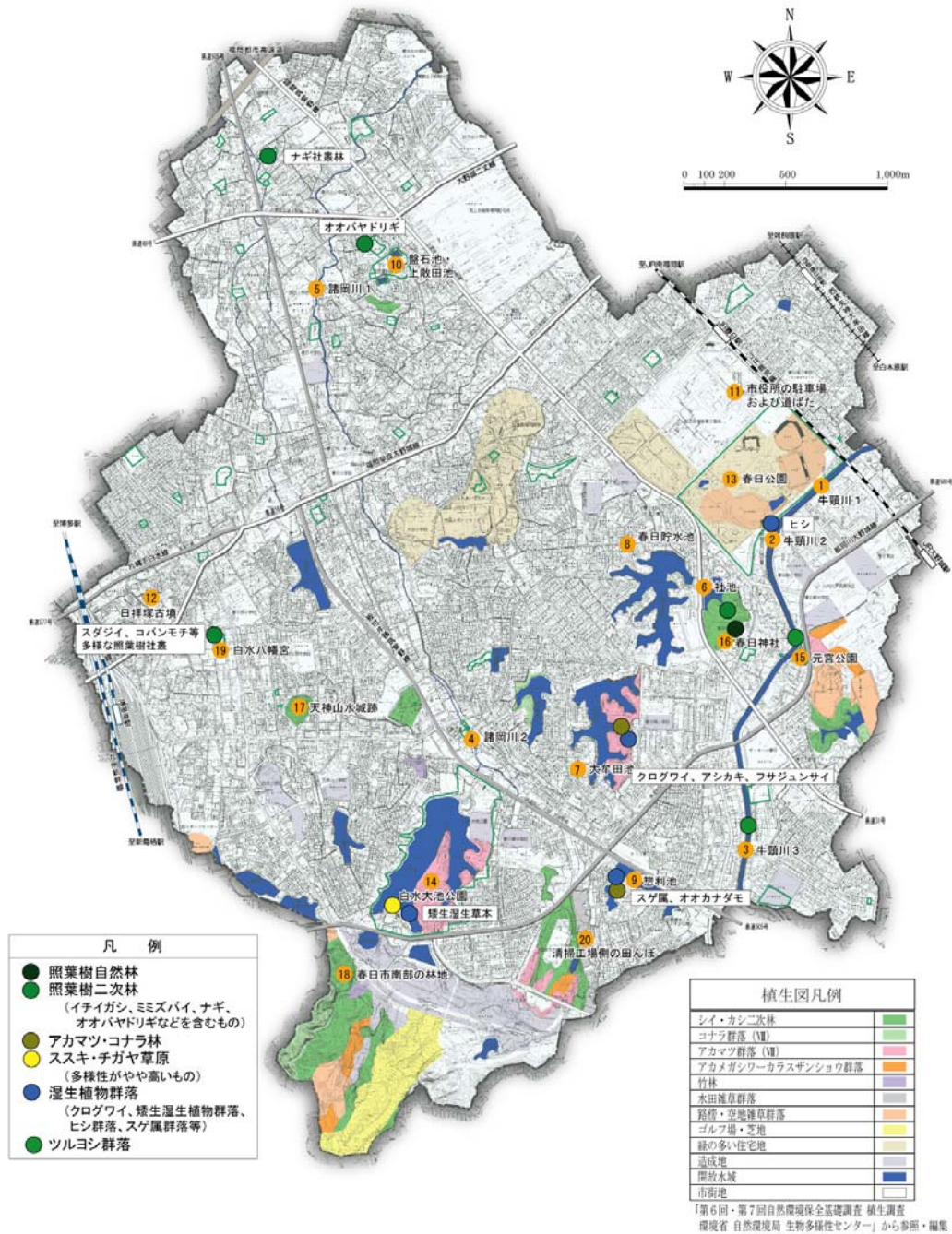
※調査地点の位置は p3 「**■**図1 主要調査地点位置図」を参照

2. 植物群落

春日市の環境タイプの把握を行うため、現地調査で確認された群落の相観をとりまとめた。

市内の森林群落は単純化が著しく、多くは伐採、皆伐、焼失等によって、マツ林として再生したものとみられる。一部に潜在植生の組成の断片をとどめているものがあり、こうした照葉樹林では、ミミズバイ、イチイガシ、カゴノキ、シロバイなどがみられる。

湿生草本群落は、溜池では、ヨシ、ヒシなどが生育する面積は著しく少なく、溜池の多くは水質が良好で栄養に乏しく、透明度が高いため、沈水植物群落が発達し、一部水位変動のある溜池汀線に出現する矮生湿生草本群落がみられる。



■ 図2 特徴的な群落の分布 (概略)

















■表8 春日市の主な環境タイプの要約と保全上の留意事項（その1）

| 区分 | 環境の現況 | 留意すべき生物の 生息環境タイプ | 重要資源と保全の方向性 |
|-----------------|--|---|---|
| 森林 (自然林、二次林) | 森林は春日神社、南部山林や、白水池、大牟田池、惣利池などに存在する。多くは断片的であり、質的な面においても二次的で、組成は単純化されているものが多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●森林、疎林、樹園地 ・照葉樹準自然林 ・照葉樹二次林、二次的な社叢林 ・アカマツ群落、コナラ群落 ・疎林、マント群落 ・ヒノキ植林、竹林 ・樹園地、公園植栽 | <ul style="list-style-type: none"> ・準自然林の厳重な保護（保護） （アナグマの生息環境） ・大径木の保存（保護） （アオバズクの渡来環境） ・社叢林の適正な管理と次世代となる稚樹の育成（保全） ・その他、春日市保存樹木（保護） |
| 水田 | 春日市の水田は、急激に縮小し、昭和40年には民有地の35%であった水田が、昭和50年には17%、平成11年には4%となっている。現在の水田は、南部清掃工場周辺や、住宅地の間に小規模が残されるのみである。こうした背景もあってか、春日公園には「田んぼビオトープ」が旧菖蒲園に造られ、懐かしい景観が再現されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●水田 ・水田雑草群落（耕作地・休耕地） | <ul style="list-style-type: none"> ・アカネ類、カエル類など親しみ深い種の安定した発生（保全・回復） ・ビオトープとしては従来の水田構造、素掘り水路、土の畦、水路との連続性、冬の湿田などの生息環境の回復。 |
| 河川 | 春日市の河川には御笠川支流の牛頸川、諸岡川、那珂川支流の川久保川があるが、その中でも牛頸川は自然的な中流河川となっている。河川の水量も比較的豊かで、ツルヨシ群落等がみられ、ハグロトンボ、オイカワ等の小動物がみられる。他は小河川や水路の様相となっており、自然的な要素は限定的であるが、諸岡川では白水大池公園下流付近に毛勝親水公園が整備されるなど、親水護岸工が施され、カワニナ、シジミ類がみられる区間もある。 | <ul style="list-style-type: none"> ●河川 ・河川中流 ・河川下流 | <ul style="list-style-type: none"> ・出水時の魚類の退避場所、カワムツ等が好むやや深い淵や落ち込みの創出等の環境修正（回復） ・カワセミの生息環境としての修正（繁殖地、餌場としての止まり場所と淵） ・ふれあいの場としての利用 |

■表9 春日市の主な環境タイプの要約と保全上の留意事項（その2）

| 区分 | 環境の現況 | 留意すべき生物の 生息環境タイプ | 重要資源と保全の方向性 |
|--------------|---|--|--|
| 溜池 | <p>春日市の自然環境を代表する溜池については、かつては100箇所以上がみられたというが、現在では20箇所が残るのみで、これらの溜池は全国的にも珍しい「溜池保全条例」（昭和60年6月）で守られている。市民が溜池周辺の環境の恩恵を享受できる箇所は少なく、白水池など、公園化された一部の溜池の他は、住宅地周辺の緑地景観としての地位を占めている。多くの溜池の水源は牛頸川で、水路でつながっている。</p> | <p>●溜池、湿地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溜池（水質良好） ・溜池（水質やや低） <p>┌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽水植物群落 ・沈水・浮葉植物群落 ・矮生湿生草本群落等 | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺緑地を含めて、市内の自然環境の中核地となっており、現存する環境の保存、生息地として不足する環境要素の補填で、自然とのふれあいの場の質を飛躍的に向上させる。 ・不足する環境としては、浅場・抽水植物群落、トンボ、カエル類の繁殖地などがある。 |
| その他 (草地等) | <p>草地は少ない上、過度の管理がなされているため、多様性の高い草地は少ない。また、緑の多い住宅地、公園等は、人工的な自然であるが、鳥類等の生息環境、昆虫類の蜜源の提供等に一定の役割を担うほか、子どもの育成環境として少なからず影響を与える。近年の再開発により、緑地が減少し、高層化による景観の都市化、コンクリート化、閉塞化などがみられる地区もあり、一定の留意が必要とみられる。</p> | <p>●草地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネ科二次草原（ススキ群集） ・多年生雑草群落（路傍雑草、シバ草地、踏跡群落） ・一年生荒地雑草群落 <p>●その他 （緑の多い住宅地等）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自然的な草地の再生（傾斜などにも留意）。 ・小さな緑地や地域の自然に調和した公園等による、子どもの育成環境の整備が必要。 |

■表 10 主な環境タイプの相観

| 区分 | 環境写真（環境名） | 主な環境要素 | |
|--------------|---|--|---|
| 森 林 |  自然林（準自然林） |  多様な照葉樹種 |  アナグマ（古い巣穴） |
| |  二次林（シイ・カシ林） |  アカマツ林・コナラ林 |  公園樹園地 |
| 水 田 |  水田 |  素掘り水路 |  休耕田と多様な水田雑草 |
| 河 川 |  河川（写真は牛頸川中流） |  岸と底の自然性 |  流込の溜り、浮石構造、大岩等 |
| 溜 池 |  大傘田池の入江 |  矮生湿生草本群落 |  浅場、抽水植物群落 |
| その他 （草地等） |  チガヤ・ススキ草地 | <ul style="list-style-type: none"> 刈り取りによって維持される比較的多様な草地。多様性が残るのは白水池の小面積など（サイヨウシャジン、メガルカヤ、クロヒバリモドキ、ショウリョウバッタモドキ） その他、緑の多い住宅地等も、鳥類の利用、昆虫類の蜜源等の役割を果たす。 | |

3. 植物相

今回の調査では、■表 11 植物相リストに示す 663 種（不明水草を含めない）の生育が確認された。生育環境別の植物の出現状況を概説する。

（1）森林環境

森林環境では、春日神社の社叢等で照葉樹の多様な構成種がみられ、スダジイ、ツブラジイ林下に、ミミズバイ、シロバイ、シイモチ、ヤマモガシ、センリョウなどが確認された。他の二次的なシイ林では、高木層にツブラジイ、スダジイ、アラカシ、コナラ、ハゼノキが多く、時にイチイガシ、カゴノキなどが混生していた。林床は乾燥気味で、オオカグマ、ヒサカキ、ヤブコウジ、ウラジロなどが生育していた。

（2）水田

水田環境では、ホソバヒメミソハギ、タマガヤツリ、アメリカアゼナ、チョウジタデ、コナギ、タカサブロウ、アメリカタカサブロウ、キカシグサなどがみられた。

（3）河川

河川では牛頸川中流域を中心に、ツルヨシ、メダケ、オオブタクサ、セイバンモロコシ、セイタカアワダチソウ、ソクズ、アカメガシワ、クズ、カナムグラなどがみられ、それぞれ群落を形成していた。他にオオイヌタデ、シロバナサクラタデ、ヌマツルギク（逸出・野生化）などがみられた。一部の下流側堆積地にはガマの生育がみられたが、群落とはなっていなかった。このほか、平成 15 年度調査に引き続き今回の調査において、牛頸川御潮井橋付近でカワヂシャが確認されている。

（4）溜池

調査地点の溜池では、水質が比較的良好に保たれており、透明度が高かった。惣利池では沈水植物のオオカナダモが、大牟田池ではハゴロモモ（移入）が、社池ではスイレン（移入）が繁茂していた。これら溜池の水位変動がある水辺には、低水時に出現するアオガヤツリ、メアゼテンツキなどの矮小な種が確認された。これらの植物が生育する要因としては、ひとつには水源の牛頸川が清流であること、上水道の整備と花崗岩土壌などのため、比較的栄養の流入が抑制されていることによるものと推測される。

平成 15 年度調査では、オニバス（社池）が、平成 15 年度調査及び今回の調査において、モウセンゴケ（春日貯水池）などの希少な植物が確認されている。

（5）その他（草地等）

刈り取りによって維持されるイネ科二次草原は多くないが、白水大池公園周辺には、

林内や林縁に多少のススキ・チガヤ草原がみられ、メガルカヤ、サイヨウシャジン、ヒョドリバナなどの混生する群落もみられたが、他の調査地点では概ね多様性は低かった。また、公園等の芝地・路傍では、ヨモギ、チガヤ、タチスズメノヒエ、オオバコ、シロツメクサ等が、集落周辺や市街地では、コニシキソウ、ニワホコリなどがみられた。

なお、春日公園内の水田環境では、環境省と福岡県のレッドデータブック掲載種であるミズマツバ、アオイゴケ、カワヂシャが確認されている。ただし、公園内という人為的攪乱の多い地区であり、また、公園整備後に新たに造成した環境であるため、移入等の可能性もある。

■表 11 植物相リスト (全季)

(その1)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | | |
|-----|-----------|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------|----|------------------------------|------------------------------|-------------------|--|---|
| | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 田 工 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007.環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県.2001) | | | |
| 1 | イワヒバ科 | ヒメクラマゴケ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 2 | トクサ科 | スギナ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 3 | ゼンマイ科 | ゼンマイ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 4 | ウラボシ科 | コシダ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 5 | | ウラボシ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 6 | フサシダ科 | カニクサ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | |
| 7 | コバノイシカグマ科 | イワヒメワラビ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | フモトシダ | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| 9 | | ワラビ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 10 | ホングウシダ科 | ホランシノブ | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 11 | ツルシダ科 | タマシダ | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | |
| 12 | イノモトソウ科 | アマクサシダ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | イノモトソウ | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | チャセンシダ科 | トラノオシダ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 15 | シンガシラ科 | シンガシラ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | オオカグマ | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | |
| 17 | オシダ科 | ナガバヤブソテツ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| 18 | | オニヤブソテツ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | ヤマヤブソテツ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | ミサキカグマ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | ベニシダ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 22 | | マルバベニシダ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | オオイタチシダ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| 24 | ヒメシダ科 | ミノシダ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 25 | | ホシダ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | |
| 26 | | コハシゴシダ | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 27 | | イヌケホシダ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | | ハシゴシダ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | | ヒメワラビ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | イワデンダ科 | シゲシダ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 31 | ウラボシ科 | マメヅタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 32 | | ノキシノブ | | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 33 | イチョウ科 | イチョウ | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ |
| 34 | ソテツ科 | ソテツ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ |
| 35 | ヒノキ科 | ヒノキ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | | | ● |
| 36 | | ビャクシン | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 37 | | カイヅカイブキ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 38 | マツ科 | ヒマラヤスギ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 39 | | アカマツ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| 40 | | クロマツ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 41 | マキ科 | ナギ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ |
| 42 | | イヌマキ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | ● |

(その2)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|--------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|----------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|--|
| | | | 牛 頭 川 1 | 牛 頭 川 2 | 牛 頭 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 野 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 道 駐 車 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 跡 | 春 日 市 南 部 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 田 工 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県. 2001) | | |
| 43 | スギ科 | スギ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 44 | | メタセコイア | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 45 | | ラクウショウ | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 46 | ヤマモモ科 | ヤマモモ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | ● | | | |
| 47 | クルミ科 | ノグルミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 48 | | シナサワグルミ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| 49 | ヤナギ科 | シダレヤナギ | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 50 | | オオタチヤナギ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 51 | カバノキ科 | オオバヤシャブシ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ● | | | |
| 52 | ブナ科 | クリ | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ● | | |
| 53 | | ツブラジイ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 54 | | スダジイ | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ● | | |
| 55 | | マテバシイ | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | ● | | |
| 56 | | シリブカガシ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 57 | | クスギ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 58 | | イチイガシ | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 59 | | アラカシ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | | |
| 60 | | シラカシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ● | | |
| 61 | | ウバメガシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 62 | | コナラ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ● | | | |
| 63 | ニレ科 | ムクノキ | | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 64 | | エノキ | | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ● | | |
| 65 | | アキニレ | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | ● | | |
| 66 | | ケヤキ | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | |
| 67 | クワ科 | クワクサ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | |
| 68 | | イヌビワ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 69 | | ホソバイヌビワ | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | |
| 70 | | イタビカズラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 71 | | カナムグラ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 72 | | ヤマグワ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 73 | イラクサ科 | トガリバヤブマオ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 74 | | ヤブマオ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 75 | | カラムシ | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | |
| 76 | | メヤブマオ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 77 | | コアカソ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 78 | ヤマモガシ科 | ヤマモガシ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 79 | ビャクダン科 | カナビキソウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 80 | ヤドリギ科 | ヒノキバヤドリギ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 81 | タデ科 | イタドリ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 82 | | ヒメツルソバ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ● | | |
| 83 | | ミズヒキ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 84 | | ヤナギタデ | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 85 | | シロバナサクラタデ | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |

(その4)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | |
|-----|---------|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|----|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|
| | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県. 2001) | 特定外来生物 要注意外来生物 |
| 129 | クスノキ科 | タブノキ | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ● | | | |
| 130 | | シロダモ | | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 131 | キンボウゲ科 | クロタネソウ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | |
| 132 | | ケキツネノボタン | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 133 | | ウマノアシガタ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 134 | | トゲミノキツネノボタン | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 135 | | タガラシ | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 136 | | キツネノボタン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 137 | | アキカラマツ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 138 | メギ科 | ヒイラギナンテン | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | |
| 139 | | ナンテン | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | |
| 140 | アケビ科 | ミツバアケビ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| 141 | | ムベ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 142 | ツツラフジ科 | アオツツラフジ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 143 | スイレン科 | ハゴロモモ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 144 | | ネツタイスイレン | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 145 | | スイレン | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 146 | ドクダミ科 | ドクダミ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 147 | センリョウ科 | センリョウ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 148 | ツバキ科 | ヤブツバキ | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ● | | | |
| 149 | | ツバキ栽培品種 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 150 | | サザンカ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 151 | | カンツバキ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 152 | | サカキ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 153 | | ハマヒサカキ | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | |
| 154 | | ヒサカキ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 155 | | モッコク | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | ● | | | |
| 156 | オトギリソウ科 | オトギリソウ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 157 | | コケオトギリ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 158 | モウセンゴケ科 | モウセンゴケ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 絶滅危惧II類 |
| 159 | ケシ科 | ムラサキケマン | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 160 | | ナガミヒナゲシ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 161 | | ヒナゲシ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | |
| 162 | アブラナ科 | ナズナ | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 163 | | オオバタネツケバナ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 164 | | タネツケバナ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 165 | | キレハマメグンバイナズナ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 166 | | カラクサナズナ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 167 | | マメグンバイナズナ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 168 | | オランダガラシ | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 169 | | ショカツサイ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 170 | | イヌガラシ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 171 | | スカシタゴボウ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | |

(その6)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | |
|-----|---------|-----------|------|------|------|------|------|----|------|-------|-----|------|------------|-------|------|-------|------|------|--------|----------|-------|--------|----|----------------------|-----------------------|-------------------|
| | | | 牛頸川1 | 牛頸川2 | 牛頸川3 | 諸岡川2 | 諸岡川1 | 社池 | 大牟田池 | 春日貯水池 | 惣利池 | 上散田池 | 市役所駐車場及び道端 | 日拝塚古墳 | 春日公園 | 白水大公園 | 元宮公園 | 春日神社 | 天神山水城跡 | 春日市南部の林地 | 白水八幡宮 | 清掃田んぼ側 | | 植物Iのレッドリスト(2007.環境省) | 福岡県の希少野生生物(福岡県, 2001) | 特定外来生物 要注意外来生物 |
| 215 | マメ科 | ハナズオウ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 216 | | シバハギ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 217 | | アレチヌスビトハギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 218 | | ヌスビトハギ | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | |
| 219 | | ノササゲ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 220 | | ノアズキ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 221 | | ツルマメ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 222 | | コマツナギ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 223 | | コマツナギ属の一種 | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 224 | | マルバヤハズソウ | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 225 | | ヤハズソウ | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 226 | | ヤマハギ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 227 | | メドハギ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| 228 | | ハイメドハギ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 229 | | マルバハギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 230 | | ツクシハギ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 231 | | ハギ属の一種 | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | | |
| 232 | | ネコハギ | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 233 | | ミヤコグサ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 234 | | コメツブウマゴヤシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 235 | | シナガワハギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 236 | | クズ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 237 | | エンジュ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | |
| 238 | | ニセアカシヤ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | |
| 239 | | コメツブツメクサ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | |
| 240 | | シロツメクサ | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 241 | | スズメノエンドウ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 242 | | カラスノエンドウ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| 243 | | カスマグサ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 244 | | ヤマフジ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 245 | | ナツフジ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 246 | カタバミ科 | ハナカタバミ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 247 | | カタバミ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 248 | | ムラサキカタバミ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 249 | | オッタチカタバミ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| 250 | フウロソウ科 | アメリカフウロ | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| 251 | トウダイグサ科 | エノキグサ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| 252 | | コニシキソウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 253 | | オオニシキソウ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 254 | | ハイニシキソウ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 255 | | アカメガシワ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | | |
| 256 | | コミカンソウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 257 | | ヒメミカンソウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |

(その7)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希少種 | | | |
|-----|----------|----------|------|------|------|------|------|----|------|-------|-----|------|------------|-------|------|-------|------|------|--------|---------|-------|--------|----|----------------------|----------------------|-------------------|--|
| | | | 牛頸川1 | 牛頸川2 | 牛頸川3 | 諸岡川2 | 諸岡川1 | 社池 | 大牟田池 | 春日貯水池 | 惣利池 | 上散田池 | 市役所駐車場及び道端 | 日拝塚古墳 | 春日公園 | 白水大公園 | 元宮公園 | 春日神社 | 天神山水城跡 | 春日市南部林地 | 白水八幡宮 | 清掃田んぼ側 | | 植物Iのレッドリスト(2007.環境省) | 福岡県の希少野生生物(福岡県.2001) | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
| 258 | トウダイグサ科 | ナンキンハゼ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | ● | | | |
| 259 | ユズリハ科 | ユズリハ | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | ● | | | |
| 260 | | ヒメユズリハ | | | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 261 | ミカン科 | ミヤマシキミ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 262 | | カラスザンショウ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 263 | ニガキ科 | ニワウルシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 264 | センダン科 | センダン | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| 265 | ヒメハギ科 | ヒメハギ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 266 | ウルシ科 | ヌルデ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 267 | | ハゼノキ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 268 | | ヤマハゼ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | |
| 269 | | ヤマウルシ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 270 | カエデ科 | トウカエデ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 271 | | イロハモミジ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | |
| 272 | ムクロジ科 | フウセンカズラ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 273 | | ムクロジ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| 274 | モチノキ科 | シイモチ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | |
| 275 | | ナナミノキ | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 276 | | イヌツゲ | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | |
| 277 | | マメツゲ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 278 | | モチノキ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| 279 | | ソヨゴ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 280 | | クロガネモチ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | | |
| 281 | | ウメモドキ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 282 | ニシキギ科 | ツルウメモドキ | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 283 | | マサキ | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | |
| 284 | ミツバウツギ科 | ゴズイ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 285 | クロウメモドキ科 | ナツメ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 286 | ブドウ科 | ノブドウ | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 287 | | キレバノブドウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | |
| 288 | | ヤブガラシ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 289 | | ツタ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 290 | | エビヅル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 291 | | サンカクヅル | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| 292 | ホルトノキ科 | コバンモチ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 293 | | ホルトノキ | | | ○ | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | ● | | | |
| 294 | アオイ科 | フヨウ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 295 | | ムクゲ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 296 | アオギリ科 | アオギリ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 297 | グミ科 | ツルグミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 298 | | ナワシログミ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | |
| 299 | | アキグミ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(その11)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|--------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------------|---------------|--------------------|----|------------------------------|-------------------------------|-------------------|----------|
| | | | 牛 頸川 1 | 牛 頸川 2 | 牛 頸川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日貯 水池 | 惣 利池 | 上 散田 池 | 市 役所 駐車 場及 び道 端 | 日 拝塚 古墳 | 春 日公 園 | 白 水大 公池 園 | 元 宮公 園 | 春 日神 社 | 天 神山 水城 跡 | 春 日市 南部 の林 地 | 白 水八 幡宮 | 清 掃工 場傍 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007.環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | |
| 427 | オオバコ科 | オオバコ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | |
| 428 | | ヘラオオバコ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 429 | | ツボミオオバコ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 430 | スイカズラ科 | ハナヅノツクバネウツギ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 431 | | ハマニンドウ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 432 | | キダチニンドウ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 433 | | スイカズラ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 434 | | ソクズ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 435 | | コバノガマズミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 436 | | ハクサンボク | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | |
| 437 | | サンゴジュ | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | | ○ | ● | | | | |
| 438 | | ゴモジュ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 439 | | ニシキウツギ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 440 | オミナエシ科 | オミナエシ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 441 | キキョウ科 | サイヨウシャジン | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 442 | | ホタルブクロ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 443 | | ミゾカクシ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 444 | | キキョウソウ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | |
| 445 | | ヒナギキョウ | | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 446 | キク科 | ヌマツルギク | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 447 | | キッコウハグマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 448 | | オオブタクサ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | 要注意外来生物A |
| 449 | | ヨモギ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 450 | | シラヤマギク | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 451 | | ヒロハホウキギク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | |
| 452 | | ヨメナ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 453 | | アメリカセンダングサ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 454 | | コシロノセンダングサ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 455 | | コセンダングサ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 456 | | ガンクビソウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 457 | | サジガンクビソウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| 458 | | トキンソウ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 459 | | ノアザミ | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 460 | | アレチノギク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 461 | | ヒメムカシヨモギ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 462 | | オオアレチノギク | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 463 | | オオキンケイギク | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 特定外来生物 |
| 464 | | コスモス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 465 | | マメカミツレ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 466 | | ベニバナボロギク | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 467 | | ヤクシソウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 468 | | アメリカカタカサブロウ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 469 | | タカサブロウ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |

(その12)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|--------|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|----|------------------------------|-------------------------------|-------------------|----------|
| | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007.環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | |
| 470 | キク科 | ダンドボロギク | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 471 | | ヒメジョオン | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 472 | | ハルジオン | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 473 | | ヒヨドリバナ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 474 | | ツワブキ | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | |
| 475 | | ハキダメギク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 476 | | ハハコグサ | | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | |
| 477 | | チチコグサ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 478 | | チチコグサモドキ | | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 479 | | ウラジロチチコグサ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | |
| 480 | | ブタナ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 481 | | ニガナ | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 482 | | オオジシバリ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 483 | | イワニガナ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 484 | | ジシバリ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 485 | | アキノノゲシ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 486 | | ホソバアキノノゲシ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 487 | | フキ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 488 | | セイタカアワダチソウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物A |
| 489 | | アキノキリンソウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 490 | | イガトキンソウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 491 | | メリケンソウ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 492 | | オキノゲシ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 493 | | ノゲシ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 494 | | アカミタンポポ | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 495 | | セイヨウタンポポ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 496 | | オオオナモミ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | 要注意外来生物B |
| 497 | | オニタビラコ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 498 | トチカガミ科 | オオカナダモ | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物A |
| 499 | ユリ科 | ノビル | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 500 | | ニラ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 501 | | ヤブラン | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | |
| 502 | | ジャノヒゲ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 503 | | ナガバジャノヒゲ | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 504 | | オモト | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | |
| 505 | | サルトリイバラ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 506 | ヒガンバナ科 | ヒガンバナ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 507 | | タマスタレ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 508 | | サフランモドキ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 509 | ヤマノイモ科 | ニガカシュウ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 510 | | ヤマノイモ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| 511 | | カエデコロ | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 512 | | オニドコロ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |

(その13)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | | |
|-----|--------|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------|----|------------------------------|------------------------------|-------------------|---|----------|
| | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 ば 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007.環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県.2001) | | | |
| 513 | ミズアオイ科 | コナギ | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 514 | アヤメ科 | ヒメヒオウギズイセン | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 515 | | シャガ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 516 | | キシノウブ | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 517 | | ニワゼキショウ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 518 | | オオニワゼキショウ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 519 | イグサ科 | ヒメコウガイゼキショウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | 絶滅危惧IB類 |
| 520 | | イ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 521 | | コウガイゼキショウ | | | | | | | ○ | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 522 | | クサイ | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | |
| 523 | | スズメノヤリ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 524 | | ヤマスズメノヒエ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 525 | ツユクサ科 | マルバツユクサ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 526 | | ツユクサ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 527 | | イボクサ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 528 | | ノハタカラクサ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | 要注意外来生物B |
| 529 | | ムラサキツユクサ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 530 | イネ科 | ヌカボ | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| 531 | | コスカグサ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 532 | | ヌカススキ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 533 | | ハナヌカススキ | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | |
| 534 | | スズメノテッポウ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | |
| 535 | | メリケンカルカヤ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 536 | | コブナグサ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 537 | | トダシバ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 538 | | カズノコグサ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 539 | | コバンソウ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 540 | | ヒメコバンソウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 541 | | イヌムギ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| 542 | | ヒゲナガスズメノチャヒキ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| 543 | | ジュズダマ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 544 | | ギョウギシバ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 545 | | カモガヤ | | ○ | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | 要注意外来生物D |
| 546 | | メヒシバ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 547 | | コメヒシバ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 548 | | アキメヒシバ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 549 | | ケイヌビエ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 550 | | イヌビエ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | |
| 551 | | ヒメイヌビエ | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| 552 | | オヒシバ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 553 | | アオカモジグサ | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 554 | | カモジグサ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | |
| 555 | | シナダレスズメガヤ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | 要注意外来生物D |

(その15)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | | |
|-----|---------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|----------------------------|----|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|---------|----------|
| | | | 牛 頭 川 1 | 牛 頭 川 2 | 牛 頭 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 道 駐 車 場 | 日 押 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 林 地 南 部 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 田 ん 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | | |
| 599 | イネ科 | アキノエノコログサ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | |
| 600 | | コツブキンエノコロ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 601 | | キンエノコロ | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 602 | | エノコログサ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 603 | | オカメザサ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 604 | | セイバンモロコシ | | ○ | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 605 | | ネズミノオ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 606 | | ムラサキネズミノオ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 607 | | メガルカヤ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 608 | | カニツリグサ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 609 | | ナギナタガヤ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | |
| 610 | | マコモ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 611 | | シバ | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | |
| 612 | ヤシ科 | シュロ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| 613 | | トウジュロ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 614 | サトイモ科 | セキショウ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 615 | | サトイモ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 616 | | カラスビシャク | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | |
| 617 | ガマ科 | ヒメガマ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 618 | | ガマ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 619 | カヤツリグサ科 | スゲ属の一種 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 620 | | シラスゲ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 621 | | アゼナルコ | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 622 | | カサスゲ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 623 | | ヒカゲスゲ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 624 | | ナキリスゲ | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 625 | | アオスゲ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 626 | | ヌカスゲ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 627 | | ツクシナルコ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | 絶滅危惧IB類 | 絶滅危惧II類 | |
| 628 | | シュロガヤツリ | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 629 | | アイダクグ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 630 | | ヒメクグ | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 631 | | クグガヤツリ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 632 | | イヌクグ | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | |
| 633 | | タマガヤツリ | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | |
| 634 | | メリケンガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | 要注意外来生物B |
| 635 | | ヒナガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 636 | | アゼガヤツリ | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 637 | | コアゼガヤツリ | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 638 | | コゴメガヤツリ | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 639 | | カヤツリグサ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| 640 | | アオガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 641 | | シロガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |

(その16)

| No. | 科名 | 種名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 植栽 | 希 少 種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 |
|-----|---------|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|----------------------------|----|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|
| | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 公 池 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 田 工 場 側 | | 植物Iの レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | |
| 642 | カヤツリグサ科 | オニガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 643 | | イガガヤツリ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 644 | | ハマスゲ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 645 | | カワラスガナ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 646 | | ハリイ | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 647 | | イヌクログワイ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 648 | | ヒメヒラテンツキ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 649 | | テンツキ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | |
| 650 | | クロテンツキ | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| 651 | | アオテンツキ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 652 | | ヒヅリコ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 653 | | ヤマイ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 654 | | メアゼテンツキ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 655 | | ヒンジガヤツリ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 656 | | イヌホタルイ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 657 | | ヒメホタルイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 658 | | カンガレイ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 659 | | ノグサ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 絶滅危惧II類 |
| 660 | ショウガ科 | ハナシュクシャ | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 661 | カンナ科 | ハナカンナ | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | ● | | |
| 662 | ラン科 | コクラン | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | |
| 663 | | ネジバナ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 664 | | 不明水草 | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 132科 | 664種 | 119 | 115 | 135 | 129 | 92 | 148 | 196 | 158 | 163 | 171 | 137 | 108 | 271 | 274 | 126 | 145 | 112 | 187 | 112 | 185 | | | | |

注釈)

・「植栽」欄は、○:植栽のみ、●:植栽を含む、逸出等

・要注意外来生物のカテゴリ

要注意外来生物A: 被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

要注意外来生物B: 被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

要注意外来生物D: 別途総合的な取組みを進める外来生物(緑化植物)

・種名の網掛けは、代表的なものについて、以下の凡例にもとづいておこなった。

| |
|---------------------------|
| 照葉樹林の主な構成種 |
| 乾性林の主な構成種 |
| 草原、林縁の多様性、その他環境の多様性を指標する種 |
| 湿生植物(水田雑草を除く) |
| 水田雑草 |

4. 動物相

(1) 哺乳類

平成 15 年度調査ではアブラコウモリ（イエコウモリ）、ノウサギの 2 種であったが、今回の調査では■表 13 に示す 4 科 5 種の生息が確認された。

春日市南部の林地でイノシシの足跡が見られたほか、春日神社社叢では、アナグマとみられる古い巣穴と周辺での掘り返し跡が発見された。なお、市内で処理された轢死体の情報にはウサギ、アライグマも含まれており、さらに 2 種類の野生哺乳類の生息が示唆された。

タヌキは市街化の進んだ都市部の環境に適応し、公園の緑地や緑道を利用して移動しているようであった。アカネズミ、コウベモグラ等の小型哺乳類は、捕獲調査は行わなかったが、痕跡等の情報は得られていない。これらの種は生態系ピラミッドの底辺を構成する種であり、個体数が多いものであるが、痕跡が得られなかったことから、個体数が減少している可能性が示唆された。その原因は市街化や樹林地の孤立、土壌の貧化等とみられる。こうした低次消費者の生息状況の変化や、市街化による生息環境の分断・縮小により、キツネ等の上位種の生息が困難となっていると推測された。

■表 12 平成 15 年度調査確認種（哺乳類参考）

| 目 | 科 | 和名 | 学名 | 備考 |
|-------|---------|---------|-----------------------------|-------|
| コウモリ目 | ヒナコウモリ科 | アブラコウモリ | <i>Pipistrellus abramus</i> | 飛翔を目撃 |
| ウサギ目 | ウサギ科 | ノウサギ | <i>Lepus brachyurus</i> | 糞を確認 |
| 2 目 | 2 科 | | 2 種 | |

■表 13 哺乳類確認種

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|------|--------|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------|
| | | | | 牛 頭 川 1 | 牛 頭 川 2 | 牛 頭 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拜 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 池 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 地 南 部 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 側 | 哺乳類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | |
| 1 | コウモリ | ヒナコウモリ | アブラコウモリ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| 2 | ネコ | イヌ | タヌキ | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 3 | | イタチ | イタチ属の一種 | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 4 | ウシ | イノシシ | アナグマ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 準絶滅危惧 |
| 5 | | | ニホンイノシシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 計 | 3目 | 4科 | 5種 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | | | |

注) 平成15年度には、他にノウサギが確認されている。
イタチ属の一種はイタチまたは移入種チョウセンイタチ。

種の指標性網掛け凡例

| | |
|----|--------|
| 森林 | 森林、照葉樹 |
| | 疎林、林縁 |

(2) 両生類・爬虫類

確認種は、両生類は平成 15 年度にはアマガエル、ヌマガエル、ウシガエルの 3 種であったが、今回の調査ではタゴガエルを加え 4 種、爬虫類では、平成 15 年度確認のアカミミガメ、カナヘビ、シマヘビの 3 種に加え、ヤモリ、イシガメ、クサガメ、トカゲ、ヒバカリの 5 種が新たに確認されたことにより、12 種の生息が確認された。生息が確認された種を■表 16 及び■表 17 に示す。

アマガエル、ヌマガエルは一般に個体数が多く、シマヘビ等上位種の餌動物ともなるが、春日市では個体数が少ない。これは、河川、溜池の水辺への移行帯や冬季にも水が残る浅く湿った水溜りなどの環境が不足していることによると考えられる。水辺の環境修復を行えば個体数が回復する可能性がある。この場合、昆虫のアカネ類を対象とした生息環境の創出、多様な湿生植物の生育環境の保全などと合わせて環境復元を行うと、自然とのふれあいの場の質の向上、環境教育などに活用できる。

ウシガエルは外来生物法の特定外来生物になっているが、現時点ではシマヘビの餌動物となっている可能性もある。

■表 14 平成 15 年度調査確認種（両生類参考）

| 目名 | 科名 | 和名 | 学名 | 備考 |
|-----|-------|-------|-------------------------|----|
| カエル | アマガエル | アマガエル | <i>Hyla japonica</i> | 捕獲 |
| | アカガエル | ヌマガエル | <i>Rana limnocharis</i> | 捕獲 |
| | | ウシガエル | <i>Rana catesbeiana</i> | 目撃 |
| 1 目 | 2 科 | | 3 種 | |

■表 15 平成 15 年度調査確認種（爬虫類参考）

| 目 | 科 | 和名 | 学名 | 備考 |
|-----|------|--------|----------------------------------|-------|
| カメ | ヌマガメ | アカミミガメ | <i>chrysemys scripta elegans</i> | 目撃・捕獲 |
| トカゲ | カナヘビ | カナヘビ | <i>Takydromus tachydromoides</i> | 捕獲 |
| | ヘビ | シマヘビ | <i>Elaphe quadrivirgata</i> | 捕獲 |
| 2 目 | 3 科 | | 3 種 | |

■表 16 両生類確認種

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 |
|-----|----------|-------|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|-----------------------|-------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------|
| | | | | 牛 頭川 1 | 牛 頭川 2 | 牛 頭川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 場 及 び 道 端 | 市 役 所 駐 車 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 池 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 ぼ こ | 両生類の レッドリスト (2006. 環境省) | |
| 1 | カエル | アマガエル | アマガエル | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 2 | | アカガエル | タゴガエル | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 3 | | | ヌマガエル | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | |
| 4 | | | ウシガエル | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | 特定外来生物 |
| 計 | 1目 2科 4種 | | | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | | | |

注) 特定外来生物：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、取扱いが規制された生物、外来生物のうち特に生態系への影響が大きい種を、特定外来生物として指定している。

種の指標性網掛け凡例

| | |
|--------|--------|
| 水田 | 水田 |
| 水圏（止水） | 同上、移入種 |

■表 17 爬虫類確認種

| 分類 | No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|----------|-----|------|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|-----------------------|-------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|
| | | | | | 牛 頭川 1 | 牛 頭川 2 | 牛 頭川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 場 及 び 道 端 | 市 役 所 駐 車 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 池 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 ぼ こ | 爬虫類の レッドリスト (2006. 環境省) | | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) |
| 爬虫類 | 1 | カメ | イシガメ | クサガメ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | 2 | | | アカミミガメ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | 要注意外来生物A |
| | 3 | | | イシガメ | ○ | | | | | | ○* | | | | | | | | | | | | | | | 情報不足 | 準絶滅危惧 | |
| | 4 | トカゲ | ヤモリ | ヤモリ | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 5 | | | トカゲ | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | | | カナヘビ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| | 7 | | | ヘビ | シマヘビ | | | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 | | | ヒバカリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 計 | 2目 5科 8種 | | | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 | 0 | 0 | 2 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | | | | |

※本業務、その他調査時に確認

注) 要注意外来生物のカテゴリー

要注意外来生物A：被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

種の指標性網掛け凡例

| | |
|--------|--------|
| 水田 | 水田 |
| 水圏（止水） | 同上、移入種 |

(3) 鳥類

調査では、■表 19 に示す 59 種（飼養鳥であるドバトを除く）が確認された。平成 15 年度調査時に確認された 48 種（飼養鳥であるアヒル、ドバトを除く）と比べると種数は増加しているが、調査の頻度や時期的なタイミングによるところが大きく、環境変化によるものではないと考えられる。

現在の春日市の鳥類相の特徴として次のことが言える。

まず留鳥では、市街地としては森林性のヤマガラが多いことが特徴として挙げられる。渡りのヒタキ類やツグミ類などは、小さな緑地を利用しており、河川ではサギ類、セキレイ類、カワセミなど水辺の鳥類が見られた。また、白水池、寺田池などの溜池には、冬季にカモ類が渡来する。さらに、春日神社にはクスノキなどの大径木があり、近年不定期ではあるがアオバズクが渡って来るなど、貴重な生息環境となっている。

これらに対して、かつて記録されたヒクイナ、タマシギ等の水田・湿地性の鳥類の生息は、市街化によって、すでに困難となっているものが多いことが示唆された。

また、春日市内における開放的な草原環境は限られており、ホオジロ等の普通種が少ないこと、開放水面の存在に対して、バン、カイツブリ等の水鳥の利用が少ないことも、特徴として挙げられる。

■表 18 平成 15 年度調査確認種 (鳥類参考)

| 目 | 科 | 和名 | 学名 | 春季 | 夏季 | 秋季 | 冬季 | 備考 |
|--------|--------|------------------------------|---|-----------------------------|----|----|----|----------------------------|
| カイツブリ | カイツブリ | カイツブリ | <i>Podiceps ruficollis</i> | | | ○ | | |
| ペリカン | ウ | カワウ | <i>Phalacrocorax carbo</i> | | | ○ | | |
| コウノトリ | サギ | ゴイサギ | <i>Nycticorax nycticorax</i> | | ○ | ○ | | |
| | | ササゴイ | <i>Butorides striatus</i> | | ○ | | | |
| | | ダイサギ | <i>Egretta alba</i> | | | ○ | ○ | |
| | | コサギ | <i>Egretta garzetta</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | アオサギ | <i>Ardea cinerea</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| カモ | カモ | マガモ | <i>Anas platyrhynchos</i> | | | ○ | ○ | |
| | | カルガモ | <i>Anas poecilorhyncha</i> | | ○ | ○ | ○ | |
| | | コガモ | <i>Anas crecca</i> | | | ○ | | |
| | | ヒドリガモ | <i>Anas penelope</i> | | | | ○ | |
| | | オナガガモ | <i>Anas acuta</i> | | | | ○ | |
| | | ホシハジロ | <i>Aythya ferina</i> | | | | ○ | |
| | | キンクロハジロ | <i>Aythya fuligula</i> | | | ○ | ○ | |
| タカ | タカ | ミサゴ | <i>Pandion haliaetus</i> | | | | ○ | 準絶滅危惧 (環境省) 準絶滅危惧 (福岡県) |
| | | トビ | <i>Milvus migrans</i> | | | | ○ | |
| ツル | クイナ | オオバン | <i>Fulica atra</i> | | | ○ | | |
| チドリ | チドリ | コチドリ | <i>Charadrius dubius</i> | ○ | | | | |
| チドリ | シギ | タシギ | <i>Gallinago gallinago</i> | | | ○ | | |
| ハト | ハト | キジバト | <i>Streptopelia orientalis</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | アオバト | <i>Sphenurus sieboldii</i> | | | | ○ | |
| ブッポウソウ | カワセミ | カワセミ | <i>Alcedo atthis</i> | ○ | | ○ | | |
| キツツキ | キツツキ | コゲラ | <i>Dendrocopos kizuki</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| スズメ | ツバメ | ツバメ | <i>Hirundo rustica</i> | ○ | ○ | | | |
| スズメ | セキレイ | キセキレイ | <i>Motacilla cinerea</i> | | | ○ | ○ | |
| | | ハクセキレイ | <i>Motacilla alba</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | セグロセキレイ | <i>Motacilla grandis</i> | | ○ | ○ | ○ | |
| | | ヒヨドリ | ヒヨドリ | <i>Hypsipetes amaurotis</i> | ○ | ○ | ○ | ○ |
| モズ | モズ | <i>Lanius bucephalus</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| レンジャク | キレンジャク | キレンジャク | <i>Bombycilla garrulus</i> | | | | ○ | |
| | | ヒレンジャク | <i>Bombycilla japonica</i> | | | | ○ | |
| ツグミ | ジョウビタキ | ジョウビタキ | <i>Phoenicurus auroreus</i> | | | | ○ | |
| | | ノビタキ | <i>Saxicola torquata</i> | ○ | | | | |
| | | シロハラ | <i>Turdus pallidus</i> | ○ | | | ○ | |
| | | ツグミ | <i>Turdus naumanni</i> | ○ | | ○ | ○ | |
| ウグイス | ウグイス | ウグイス | <i>Cettia diphone</i> | ○ | | | | |
| | | セッカ | <i>Cisticola juncidis</i> | | | ○ | | |
| エナガ | エナガ | <i>Aegithalos caudatus</i> | ○ | | | ○ | | |
| シジュウカラ | ヤマガラ | ヤマガラ | <i>Parus varius</i> | | | ○ | ○ | |
| | | シジュウカラ | <i>Parus major</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| メジロ | メジロ | <i>Zosterops japonica</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| ホオジロ | アオジ | <i>Emberiza spodocephala</i> | | | | ○ | | |
| アトリ | カワラヒワ | <i>Carduelis sinica</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| ハタオリドリ | スズメ | <i>Passer montanus</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| ムクドリ | ムクドリ | <i>Sturnus cineraceus</i> | ○ | | ○ | ○ | | |
| カラス | カササギ | カササギ | <i>Pica pica</i> | | ○ | | | 保全対策依存種 (福岡県) |
| | | ハシボソガラス | <i>Corvus corone</i> | ○ | | ○ | ○ | |
| | | ハシブトガラス | <i>Corvus macrorhynchos</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| (カモ) | (カモ) | (アヒル) | <i>Anas platyrhynchos</i> var. <i>domesticus</i> | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| (ハト) | (ハト) | (ドバト) | <i>Columba livia</i> var. <i>domestica</i> | ○ | | ○ | ○ | |
| 13目 | 26科 | | 50種 | 24 | 19 | 32 | 36 | |

■表 19 鳥類確認種

(その1)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | | |
|-----|--------|-------|---------|------|------|------|------|------|----|------|-------|-----|------|--------|------|-------|------|--------|------|------|-----|-------|-------|-------|---------------------|-----------------------|-------------------|
| | | | | 牛頸川1 | 牛頸川2 | 牛頸川3 | 諸岡川2 | 諸岡川1 | 社池 | 大牟田池 | 春日貯水池 | 惣利池 | 上散田池 | 場及び道端車 | 市役所駐 | 日揮塚古墳 | 春日公園 | 白水大池公園 | 元宮公園 | 春日神社 | 天神山 | 春日市南部 | 白水八幡宮 | 清掃工場側 | 鳥類のレッドリスト(2006.環境省) | 福岡県の希少野生生物(福岡県, 2001) | 特定外来生物 要注意外来生物 |
| 1 | カイツブリ | カイツブリ | カイツブリ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 2 | ペリカン | ウ | カワウ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 3 | コウノトリ | サギ | ササゴイ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | ダイサギ | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 5 | | | コサギ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 6 | | | アオサギ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 7 | カモ | カモ | マガモ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | |
| 8 | | | カルガモ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | ヨシガモ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | オカヨシガモ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | ヒドリガモ | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 12 | | | ホシハジロ | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | キンクロハジロ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | タカ | ハヤブサ | チゴハヤブサ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 15 | ツル | クイナ | バン | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | チドリ | シギ | クサシギ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 17 | | | イソシギ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 18 | | | タンシギ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | ハト | ハト | キジバト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 20 | | | ドバト | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 21 | カッコウ | カッコウ | ホトトギス | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 22 | フクロウ | フクロウ | アオバズク | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | 絶滅危惧II類 |
| 23 | アマツバメ | アマツバメ | アマツバメ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 24 | ブッポウソウ | カワセミ | カワセミ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | |
| 25 | キツツキ | キツツキ | ヨゲラ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 26 | スズメ | ツバメ | ツバメ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 27 | | | イワツバメ | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 28 | | セキレイ | キセキレイ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 29 | | | ハクセキレイ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | |
| 30 | | | セグロセキレイ | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | |
| 31 | | | ビンズイ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 32 | | ヒヨドリ | ヒヨドリ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 33 | | モズ | モズ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | |
| 34 | | ツグミ | ジョウビタキ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | | | ノビタキ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | | | イソヒヨドリ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | | | クロツグミ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 38 | | | シロハラ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |

(4) 昆虫類

調査では 201 種が確認された。

類別の確認種数では、トンボ類が 20 種（平成 15 年度 26 種）、バッタ類 34 種（同 25 種）チョウ類 41 種（同 29 種）の生息が確認された。

トンボ類では、前回調査で確認された貴重種のベニイトトンボ（環境省レッドデータブック：絶滅危惧Ⅱ類）が今回の調査では確認できなかったなど、溜池の環境の変化を示唆する結果も得られている。また、秋季調査の時期がアカネ類の産卵期となっていたこともあって、数種が確認されたが、個体数は少なく、繁殖に必要な浅い水辺、特に冬にも湿田状の場所や抽水植物群落が不足していると感じた。引き続き監視を行う必要がある。

バッタ類、チョウ類については、ともに今回の調査の確認種の方が多いが、調査の頻度や時期的なタイミングによるところが大きく、環境変化によるものではないと考えられる。

昆虫相は多彩な環境の存在する、春日公園、白水池、惣利池などで種数が多かった。

■表 20 平成 15 年度調査確認種（昆虫類参考）

| 目名 | 科名 | 和名 | 学名 |
|------|----------|------------|-------------------------------------|
| カゲロウ | ヒトリガカゲロウ | チラカゲロウ | <i>Isonychia japonica</i> |
| | ヒラタカゲロウ | シロタニガワカゲロウ | <i>Ecdyonurus yoshidae</i> |
| トンボ | イトトンボ | クロイトトンボ | <i>Cercion calamorum</i> |
| | | ベニイトトンボ | <i>Ceriagrion nipponicum</i> |
| | | アジアイトトンボ | <i>Ischnura asiatica</i> |
| | | アオモンイトトンボ | <i>Ischnura senegalensis</i> |
| | モノサシトンボ | モノサシトンボ | <i>Copera annulata</i> |
| | アオイトトンボ | アオイトトンボ | <i>Lestes sponsa</i> |
| | カワトンボ | ハグロトンボ | <i>Calopteryx atrata</i> |
| | サナエトンボ | ダビドサナエ | <i>Davidius nanus</i> |
| | | タイワンウチワヤンマ | <i>Ictinogomphus pertinax</i> |
| | | オナガサナエ | <i>Onychogomphus viridicosta</i> |
| | | コオニヤンマ | <i>Sieboldius albardae</i> |
| | ヤンマ | クロスジギンヤンマ | <i>Anax nigrofasciatus</i> |
| | | ギンヤンマ | <i>Anax parthenope</i> |
| | | コシボソヤンマ | <i>Boyeria maclachlani</i> |
| | エゾトンボ | オオヤマトンボ | <i>Ephthalma elegans</i> |
| | | コヤマトンボ | <i>Macromia amphigena</i> |
| | トンボ | ショウジョウトンボ | <i>Crocothemis servilia</i> |
| | | シオカラトンボ | <i>Orthetrum albistylum</i> |
| | | オオシオカラトンボ | <i>Orthetrum triangulare</i> |
| | | ウスバキトンボ | <i>Pantala flavescens</i> |
| | | コシアキトンボ | <i>Pseudothemis zonata</i> |
| | | チョウトンボ | <i>Rhyothemis fuliginosa</i> |
| | | コノシメトンボ | <i>Sympetrum baccha</i> |
| | | マユタテアカネ | <i>Sympetrum eroticum</i> |
| | | アキアカネ | <i>Sympetrum frequens</i> |
| | | ノシメトンボ | <i>Sympetrum infuscatum</i> |
| ゴキブリ | チャバネゴキブリ | モリチャバネゴキブリ | <i>Blattella nipponica</i> |
| カマキリ | カマキリ | ハラビロカマキリ | <i>Hierodula patellifera</i> |
| | | チョウセンカマキリ | <i>Tenodera angustipennis</i> |
| | | オオカマキリ | <i>Tenodera aridifolia</i> |
| バッタ | ケラ | ケラ | <i>Gryllotalpa fossor</i> |
| | コオロギ | クチキコオロギ | <i>Duolandrevus sp.</i> |
| | | ハラオカメコオロギ | <i>Loxoblemmus arietulus</i> |
| | | ミツカドコオロギ | <i>Loxoblemmus doenitzi</i> |
| | | シバズ | <i>Pteronemobius mikado</i> |
| | | マダラスズ | <i>Pteronemobius nigrofasciatus</i> |
| | | エンマコオロギ | <i>Teleogryllus emma</i> |
| | | ツツレサセコオロギ | <i>Velarifictorus mikado</i> |
| | カネタタキ | カネタタキ | <i>Ornebius kanetataki</i> |
| | カンタン | カンタン | <i>Oecanthus indicus</i> |

| | | | |
|----------|---------|--------------|-----------------------------|
| | キリギリス | ツコムシ | Phaneroptera falcata |
| | | キリギリス | Gampsocleis buergeri |
| | | ウスイロササキリ | Conocephalus chinensis |
| | | オナガササキリ | Conocephalus gladiatus |
| | | ホシササキリ | Conocephalus maculatus |
| | | ササキリ | Conocephalus melas |
| | オンブバッタ | オンブバッタ | Atractomorpha lata |
| | バッタ | ショウリョウバッタ | Acrida cinerea |
| | | マダラバッタ | Aiolopus tamulus |
| | | トノサマバッタ | Locusta migratoria |
| | | クルマバッタモドキ | Oedaleus infernalis |
| | | ツチイナゴ | Patanga japonica |
| | | イボバッタ | Trilophidia annulata |
| | ヒシバッタ | トゲヒシバッタ | Criotettix japonicus |
| | | コバネヒシバッタ | Formosatettix larvatus |
| ハサミムシ | オオハサミムシ | オオハサミムシ | Labidura riparia |
| カメムシ | セミ | クマゼミ | Cryptotympana facialis |
| | | アブラゼミ | Graptopsaltria nigrofuscata |
| | | ツクツクボウシ | Meimuna opalifera |
| | | ニイニイゼミ | Platypleura kaempferi |
| ミミズク | | ミミズク | Ledra auditura |
| オオヨコバイ | | ツマグロオオヨコバイ | Bothrogonia ferruginea |
| アメンボ | | アメンボ | Gerris paludum |
| マツモムシ | | コマツモムシ | Anisops ogasawarensis |
| ナガカメムシ | | オオモンシロナガカメムシ | Dieuches abbreviatus |
| ホシカメムシ | | フタモンホシカメムシ | Pyrrhocoris sibiricus |
| ホソヘリカメムシ | | クモヘリカメムシ | Leptocorisa chinensis |
| | | ホソヘリカメムシ | Riptortus clavatus |
| ヘリカメムシ | | ホオズキカメムシ | Acanthocoris sordidus |
| | | ホシハラビロヘリカメムシ | Homoeocerus unipunctatus |
| | | ツマキヘリカメムシ | Hygia opaca |
| マルカメムシ | | マルカメムシ | Megacocta punctatissima |
| ノコギリカメムシ | | ノコギリカメムシ | Megymenum gracilicorne |
| カメムシ | | オオクロカメムシ | Scotinophara horvathi |
| | | キマダラカメムシ | Erthesina fullo |
| | | ナガメ | Eurydema rugosa |
| | | ムラサキシラホシカメムシ | Eysarcoris annamita |
| コウチュウ | ハンミョウ | ハンミョウ | Cicindela chinensis |
| | オサムシ | オオヒラタゴミムシ | Platynus magnus |
| | ゲンゴロウ | ハイイロゲンゴロウ | Eretes sticticus |
| | クワガタムシ | ヒラタクワガタ | Serrognathus platymelus |
| | コガネムシ | コブマルエンマコガネ | Onthophagus atripennis |
| | | アカビロウドコガネ | Maladera castanea |
| | | アオドウガネ | Anomala albopilosa |
| | | セマダラコガネ | Blitopertha orientalis |
| | | コアオハナムグリ | Oxycetonia jucunda |
| | | カナブン | Rhomborrhina japonica |
| | | アオカナブン | Rhomborrhina unicolor |
| デントウムシ | | ナナホシデントウ | Coccinella septempunctata |
| | | ナミデントウ | Harmonia axyridis |
| | | ヒメカメノコデントウ | Propylea japonica |
| ゴミムシダマシ | | コスナゴミムシダマシ | Gonocephalum coriaceum |
| カミキリムシ | | ノコギリカミキリ | Prionus insularis |
| ハムシ | | アカクビボソハムシ | Lema diversa |
| | | チャイロサルハムシ | Basilepta balyi |
| | | ウリハムシ | Aulacophora femoralis |
| | | キバリトゲハムシ | Dactylispa masonii |
| | | ヒメカメノコハムシ | Cassida piperata |

| | | | |
|------|------------|------------|-------------------------------------|
| ハチ | ツチバチ | オオモンツチバチ | <i>Scolia histrionica</i> |
| | | オオハラナガツチバチ | <i>Megacampsomeris grossa</i> |
| | ベッコウバチ | ツマアカベッコウ | <i>Tachypompilus analis</i> |
| | ドロバチ | ムモントックリバチ | <i>Eumenes rubronotatus</i> |
| | | スズバチ | <i>Oreumenes decoratus</i> |
| | スズメバチ | フタモンアシナガバチ | <i>Polistes chinensis</i> |
| | | セグロアシナガバチ | <i>Polistes jadwigae</i> |
| | | キアシナガバチ | <i>Polistes rothneyi</i> |
| | | オオスズメバチ | <i>Vespa mandarinia</i> |
| | アナバチ | サトジガバチ | <i>Ammophila sabulosa</i> |
| | コシブトハナバチ | クマバチ | <i>Xylocopa appendiculata</i> |
| | ミツバチ | ニホンミツバチ | <i>Apis cerana</i> |
| ハエ | ミズアブ | ミズアブ | <i>Stratiomys japonica</i> |
| | ムシヒキアブ | アオメアブ | <i>Cophinopoda chinensis</i> |
| | ハナアブ | ホソヒラタアブ | <i>Episyrphus balteatus</i> |
| トビケラ | シマトビケラ | コガタシマトビケラ | <i>Cheumatopsyche brevilineatus</i> |
| チョウ | マダラガ | ホタルガ | <i>Pidorus atratus</i> |
| | セセリチョウ | ダイミョウセセリ | <i>Daimio tethys</i> |
| | | イチモンジセセリ | <i>Parnara guttata</i> |
| | アゲハチョウ | アオスジアゲハ | <i>Graphium sarpedon</i> |
| | | カラスアゲハ | <i>Papilio bianor</i> |
| | | モンキアゲハ | <i>Papilio helenus</i> |
| | | ナガサキアゲハ | <i>Papilio memnon</i> |
| | | クロアゲハ | <i>Papilio protenor</i> |
| | | ナミアゲハ | <i>Papilio xuthus</i> |
| | シロチョウ | ツマキチョウ | <i>Anthocharis scolymus</i> |
| | | モンキチョウ | <i>Colias erate</i> |
| | | キチョウ | <i>Eurema hecabe</i> |
| | | モンシロチョウ | <i>Pieris rapae</i> |
| | シジミチョウ | ルリシジミ | <i>Celastrina argiolus</i> |
| | | ツバメシジミ | <i>Everes argiades</i> |
| | | ベニシジミ | <i>Lycaena phlaeas</i> |
| | | ムラサキシジミ | <i>Narathura japonica</i> |
| | | ゴイシシジミ | <i>Taraka hamada</i> |
| | | ヤマトシジミ | <i>Zizeeria maha</i> |
| | ウラギンシジミチョウ | ウラギンシジミ | <i>Curetis acuta</i> |
| | タテハチョウ | ツマグロヒョウモン | <i>Argyreus hyperbius</i> |
| | | ヒメアカタテハ | <i>Cynthia cardui</i> |
| | | メスグロヒョウモン | <i>Damora sagana</i> |
| | | コミスジ | <i>Neptis sappho</i> |
| | | アカタテハ | <i>Vanessa indica</i> |
| | ジャノメチョウ | クロヒカゲ | <i>Lethe diana</i> |
| | | ウスイロコノマチョウ | <i>Melanitis leda</i> |
| | | ヒメジャノメ | <i>Mycalesis gotama</i> |
| | | ヒメウラナミジャノメ | <i>Ypthima argus</i> |
| 12目 | | 61科 | 145種 |

■表 21 昆虫類確認種

(その1)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | | | | | |
|-----|-------|---------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|--------------|--------------------|-------------------------|---------------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|---|---|--|--|--|
| | | | | 牛 頸川 1 | 牛 頸川 2 | 牛 頸川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日貯水 池 | 惣 利池 | 上 散田 池 | 市 役所 駐車 場及 び道 端 | 日 拝塚 古墳 | 春 日公 園 | 白 水大 池 公園 | 元 宮公 園 | 春 日神 社 | 天 神山 水城 跡 | 春 日市 南 部 林地 | 白 水八 幡宮 | 清 掃工 場 田ん ぼ側 | 昆虫類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | | | | | |
| 1 | トンボ | イトトンボ | クロイトトンボ | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | アオモンイトトンボ | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 3 | | モノサシトンボ | モノサシトンボ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | アオイトトンボ | アオイトトンボ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | カワトンボ | ハグロトンボ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | サナエトンボ | タイワンウチワヤンマ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | オニヤンマ | オニヤンマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 8 | | ヤンマ | クロスジギンヤンマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 9 | | | ギンヤンマ | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | サラサヤンマ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | トンボ | ショウジョウトンボ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | シオカラトンボ | | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | |
| 13 | | | オオシオカラトンボ | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 14 | | | ウスバキトンボ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 15 | | | コシアキトンボ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 16 | | | チョウトンボ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | コノシメトンボ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | マユタテアカネ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 19 | | | アキアカネ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | アシメトンボ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | ゴキブリ | チャバネゴキブリ | モリチャバネゴキブリ | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 22 | カマキリ | カマキリ | ハラビロカマキリ | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | コカマキリ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | チョウセンカマキリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 25 | | | オオカマキリ | | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | シロアリ | ミゾガシラシロアリ | ヤマトシロアリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 27 | バッタ | カマドウマ コオロギ | ヒメハヤシウマ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 28 | | | クチキコオロギ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 29 | | | ハラオカメコオロギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | モリオカメコオロギ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 31 | | | シバズ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 32 | | | マダラスズ | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | | | ヤチスズ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | | | エンマコオロギ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| 35 | | | ツヅレサセコオロギ | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | | | コガタコオロギ | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | クサヒバリ | クサヒバリ | クサヒバリ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | | | クロヒバリモドキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | マツムシ | アオマツムシ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40 | カネタタキ | カネタタキ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 41 | キリギリス | キリギリス | クダマキモドキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | | | ヒメクダマキモドキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 43 | | | タイワンクツワムシ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 44 | | | キリギリス | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 45 | | | ヒメギス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(その2)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|---------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|--------------|--------------------|-------------------------|---------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------|
| | | | | 牛 頸川 1 | 牛 頸川 2 | 牛 頸川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日貯水 池 | 惣 利池 | 上 散田 池 | 市 役所 駐車 場及 び道 端 | 日 拝塚 古墳 | 春 日公 園 | 白 水大 池 公園 | 元 宮公 園 | 春 日神 社 | 天 神山 水城 跡 | 春 日市 南 部 林地 | 白 水八 幡宮 | 清 掃工 場側 の田 んぼ | 昆虫類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | | |
| 46 | バッタ | キリギリス | ウスイロササキリ | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | |
| 47 | | | オナガササキリ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 48 | | | ホシササキリ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| 49 | | | ササキリ | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | |
| 50 | | | クビキリギス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51 | | オンブバッタ | オンブバッタ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| 52 | | バッタ | ショウリョウバッタ | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| 53 | | | マダラバッタ | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 54 | | | ショウリョウバッタモドキ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 55 | | | トノサマバッタ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 56 | | | ハネナガイナゴ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | |
| 57 | | | ツチイナゴ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 58 | | | イボバッタ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| 59 | | ヒシバッタ | トゲヒシバッタ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | |
| 60 | | | ヒシバッタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 61 | カメムシ | テングスケバ | テングスケバ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | | アオバハゴロモ | アオバハゴロモ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | | ハゴロモ | スケバハゴロモ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 | | | アミガサハゴロモ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65 | | ゼミ | クマゼミ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 66 | | | アブラゼミ | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 67 | | | ツクツクボウシ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 68 | | | ニイニイゼミ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 69 | | | ハルゼミ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | 準絶滅危惧 |
| 70 | | オオヨコバイ | ツماغロオオヨコバイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 71 | | | オオヨコバイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| 72 | | ヨコバイ | ツماغロヨコバイ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 73 | | アメンボ | シマアメンボ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 74 | | | アメンボ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | |
| 75 | | サシガメ | ヨコヅナサシガメ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 76 | | | ヤニサシガメ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 77 | | | クロモンサシガメ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 78 | | ホソヘリカメムシ | クモヘリカメムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| 79 | | ヘリカメムシ | ホソヘリカメムシ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | |
| 80 | | | ホシハラビロヘリカメムシ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 81 | | マルカメムシ | マルカメムシ | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 82 | | ツチカメムシ | ツチカメムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 83 | | カメムシ | キマダラカメムシ | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | |
| 84 | | | シラホシカメムシ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 85 | | | クサギカメムシ | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | |
| 86 | | | アオクサカメムシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 87 | アミメカゲロウ | クサカゲロウ | クサカゲロウ科の一種 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 88 | | | ヨツボシクサカゲロウ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 89 | コウチュウ | ハンミョウ | ハンミョウ | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | |
| 90 | | オサムシ | ゴモクムシ亜科の一種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

LC

(その3)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 |
|-----|-------|-----------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|
| | | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 市 役 所 駐 車 場 及 び 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 池 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 側 の 田 ん ぼ | 昆虫類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県, 2001) | |
| 91 | コウチュウ | ガムシ | ヒメガムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 92 | | ハネカクシ | アオバアリガタハネカクシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 93 | | センチコガネ | センチコガネ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 94 | | コガネムシ | アオドウガネ | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | |
| 95 | | | コアオハナムグリ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 96 | | | ドウガネブイブイ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 97 | | | セマダラコガネ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 98 | | | コガネムシ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 99 | | | マメコガネ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 100 | | | シロテンハナムグリ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 101 | | タマムシ | クズノチビタマムシ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 102 | | コメツキムシ | サビキコリ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 103 | | ジョウカイボン | セボシジョウカイ | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | |
| 104 | | テントウムシダマシ | テントウムシダマシ科の一種 | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 105 | | テントウムシ | ヒメアカホシテントウ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 106 | | | ナナホシテントウ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | | |
| 107 | | | ナミテントウ | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 108 | | | キイロテントウ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 109 | | | ヒメカメノコテントウ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 110 | | ゴミムシダマシ | ナガニジゴミムシダマシ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| 111 | | | ユミアシゴミムシダマシ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 112 | | | キマワリ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 113 | | ハムシ | ヨモギハムシ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 114 | | | ハッカハムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| 115 | | | ヤナギルリハムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| 116 | | | クロウリハムシ | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 117 | | | ジュンサイハムシ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 118 | | | ヨツボシハムシ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 119 | | | クロトゲハムシ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 120 | | | イチモンジカメノコハムシ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |
| 121 | | ゾウムシ | シロコブゾウムシ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 122 | | | ハスジカツオゾウムシ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 123 | | | オジロアシナガゾウムシ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 124 | ハチ | ミフシハバチ | ルリチュウレンジ | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | |
| 125 | | ツチバチ | ハラナガツチバチ | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | |
| 126 | | アリ | トビイロシワアリ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 127 | | | クロオオアリ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | |
| 128 | | | クロクサアリ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 129 | | ドロバチ | スズバチ | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 130 | | スズメバチ | フタモンアシナガバチ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 131 | | | セグロアシナガバチ | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ | | |
| 132 | | | キアシナガバチ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | |
| 133 | | | コガタスズメバチ | | | | | | | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | | | |
| 134 | | | オオスズメバチ | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 135 | | | ヒメスズメバチ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |

(その4)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | |
|-----|-----|------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|---------------|---------|--------------|----------------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|--------------|----------------|---------------------|---------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|---------|
| | | | | 牛 頸川 1 | 牛 頸川 2 | 牛 頸川 3 | 諸 岡川 2 | 諸 岡川 1 | 社 池 | 大 牟田 池 | 春 日貯水 池 | 惣 利池 | 上 散田 池 | 市 役所駐 車 場及び 道端 | 日 拝塚古 墳 | 春 日公 園 | 白 水大 池 公園 | 元 宮公 園 | 春 日神 社 | 天 神山 水城跡 | 春 日市南 部 林地 | 白 水八 幡宮 | 清 掃工 場 の田 んぼ 側 | 昆虫類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県. 2001) | | |
| 136 | ハチ | ハキリバチ | オオハキリバチ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 137 | | コシブトハナバチ | クマバチ | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 138 | | ミツバチ | トラマルハナバチ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 139 | | | セイヨウミツバチ | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 140 | ハエ | ムシヒキアブ | シオヤムシヒキ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 141 | | ミズアブ | コウカアブ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 142 | | アブ | ウシアブ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 143 | | ツリアブ | クロバネツリアブ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 144 | | ムシヒキアブ | シオヤアブ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 145 | | ハナアブ | ホソヒラタアブ | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 146 | | | ヒメヒラタアブ | | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 147 | | クロバエ | キンバエ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 148 | | ニクバエ | センチニクバエ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 149 | チョウ | マダラガ | ホタルガ | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 150 | | | ホタルガ | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 151 | | メイガ | コブノメイガ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 152 | | | シロヤヒメノメイガ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 153 | | | シロオビノメイガ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 154 | | | マエアカスカシノメイガ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 155 | | セセリチョウ | ダイミョウセセリ | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | |
| 156 | | | イチモンジセセリ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | |
| 157 | | | チャバネセセリ | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | |
| 158 | | | コチャバネセセリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 159 | | アゲハチョウ | アオスジアゲハ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | |
| 160 | | | カラスアゲハ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | |
| 161 | | | モンキアゲハ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 162 | | | キアゲハ | | | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | |
| 163 | | | ナガサキアゲハ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | |
| 164 | | | クロアゲハ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 165 | | | ナミアゲハ | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | | | |
| 166 | | シロチョウ | モンキチョウ | | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | |
| 167 | | | キチョウ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 168 | | | スジグロシロチョウ | | | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 169 | | | モンシロチョウ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 170 | | シジミチョウ | ルリシジミ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 171 | | | ツバメシジミ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 172 | | | ウラナシジミ | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 173 | | | ベニシジミ | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 174 | | | ムラサキツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 175 | | | ムラサキシジミ | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 176 | | | ヤマトシジミ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 177 | | ウラギンシジミチョウ | ウラギンシジミ | | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 178 | | マダラチョウ | アサギマダラ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 179 | | タテハチョウ | コムラサキ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 絶滅危惧II類 |
| 180 | | | ツマグロヒョウモン | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |

(その5)

| No. | 目 | 科 | 種 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 希少種 | | 特定外来生物 要注意外来生物 | | |
|-----|-----|-----------|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|--------------------------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|--|--|
| | | | | 牛 頸 川 1 | 牛 頸 川 2 | 牛 頸 川 3 | 諸 岡 川 2 | 諸 岡 川 1 | 社 池 | 大 牟 田 池 | 春 日 貯 水 池 | 惣 利 池 | 上 散 田 池 | 場 及 び 所 駐 車 道 端 | 日 拝 塚 古 墳 | 春 日 公 園 | 白 水 大 池 公 園 | 元 宮 公 園 | 春 日 神 社 | 天 神 山 水 城 跡 | 春 日 市 南 部 の 林 地 | 白 水 八 幡 宮 | 清 掃 工 場 側 | 昆虫類の レッドリスト (2007. 環境省) | 福岡県の 希少野生生物 (福岡県. 2001) | | | |
| 181 | チョウ | タテハチョウ | ヒメアカタテハ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 182 | | | イシガケチョウ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | |
| 183 | | | ゴマダラチョウ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | | | | | |
| 184 | | | タテハモドキ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | |
| 185 | | | ルリタテハ | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 186 | | | イチモンジチョウ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 187 | | | コムスジ | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | |
| 188 | | | キタテハ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | | | | | |
| 189 | | | アカタテハ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | |
| 190 | | | ジャノメチョウ | クロヒカゲ | | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | |
| 191 | | クロコマチョウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 192 | | ヒメジャノメ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | |
| 193 | | サトキマダラヒカゲ | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 194 | | | ヒメウラナミジャノメ | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 195 | | シャクガ | ユウマダラエダシャク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 196 | | | トンボエダシャク | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 197 | | スズメガ | オオスカシバ | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 198 | | | ホシホウジャク | | | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | |
| 199 | | ヒトリガ | シロヒトリ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 200 | | | アメリカシロヒトリ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 201 | | トラガ | トラガ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| 計 | | 11目 78科 | 201種 | 33 | 29 | 51 | 33 | 17 | 42 | 52 | 38 | 58 | 44 | 46 | 30 | 75 | 78 | 17 | 36 | 30 | 53 | 17 | 45 | | | | | |

注) ・昆虫類は目視を主とする概略調査による。

- ・特定外来生物：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、取扱いが規制された生物、外来生物のうち特に生態系への影響が大きい種を、特定外来生物として指定している。

・要注意外来生物のカテゴリー

要注意外来生物A：被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

種の指標性網掛け凡例

| | |
|---------|-----------------|
| 森林 | 森林、照葉樹 |
| | 疎林、林縁 |
| 水田 | 水田 |
| 草原 | 草地 |
| 疎林、路傍 | 疎林、林縁 |
| 水圏 (河川) | 河川中流 |
| | 河川中流周辺 |
| 水圏 (止水) | やや栄養が少ない水域 |
| | やや栄養が多い水域、湿地、泥地 |
| | 同上、移入種 |

(5) 魚介類

1) 河川

春日市を流れる主要な河川は、牛頸川、諸岡川の2河川である。

①牛頸川

河床には寄り州と中州が発達し、底質は主に砂で、特に牛頸川3の円入橋付近では、表面の一部が掃流砂となっており河床は不安定である。牛頸川の3箇所の調査地点で多かった魚類は、カワムツ、オイカワ、カマツカ、礫のある所ではトウヨシノボリであった。

今回の調査では、平成15年度調査で生息が確認されたタカハヤ、ブルーギルは採集できなかったが、新たにカワムツ、ムギツク、イトモロコ、オヤニラミが得られた。牛頸川2の地点に繁茂したミゾソバの下から採集されたオヤニラミは、環境省と福岡県のレッドデータブックで「準絶滅危惧」と評価されている希少な魚類である。

甲殻類では、3箇所の調査地点ともにミナミヌマエビ、スジエビが採集された。今回の調査では平成15年度調査で生息が確認されたテナガエビ、サワガニは採集できなかったが、新たにミナミヌマエビ、モクズガニが得られた。

貝類についてみると、上流部の牛頸川3の円入橋付近では、カワニナとシジミ属の生息が確認されたが、春日野小学校前で採集されたカワニナは全て空殻であった。下流部の春日公園前では、貝類は採集できなかった。

②諸岡川

諸岡川の2箇所の調査地点は、ともに河床がコンクリートで水生生物の生息には適していない。

魚類では、ギンブナ1尾が須玖小学校前で水深が浅いために体の側面を上にした状態で発見されたが、これは偶発的に上流から流れてきたものと推察された。毛勝親水公園前で採集したカワムツは、河床に設けられた80cm四方の凹みに推積した砂に根を生やしたオオカナダモの下から採集されたもので、淀みとなっている凹み以外の所では水深5~10cmと浅く、この地点は外敵から隠れることもできない環境になっている。

今回の調査では、平成15年度調査で生息が確認されたナマズ、ブルーギルは採集できなかった。

甲殻類では、新たにスジエビの生息が確認された。前述のオオカナダモの中から得られた。

貝類は、牛頸川よりも多く、特に須玖小学校前では6種の生息が確認された。そのうち5種は、平成15年度調査でもみられているが、今回は新たにモノアラガイが得られた。本種は環境省のレッドデータブックで「準絶滅危惧」と評価されている。

■表 22 魚介類調査結果（河川環境）

〈魚類〉

| 科 | 種 | 牛頸川 1 (春日公園前) | 牛頸川 2 (春日野小前) | 牛頸川 3 (円入橋付近) | 諸岡川 1 | 諸岡川 2 | 備考 |
|------|-----------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|----|
| コイ | コイ | ○ | | | | | 目視 |
| | ギンブナ | ○ | | ○ | | ○ | |
| | オイカワ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ○カワムツ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | ○ムギツク | ○* | | | | | 目視 |
| | カマツカ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ○イトモロコ | ○ | | | | | |
| ドジョウ | ヤマトシマドジョウ | | | ○* | | | 目視 |
| ナマズ | ナマズ | | | ○ | | | |
| スズキ | ○オヤニラミ | | ○ | | | | |
| ハゼ | ドンコ | | | ○ | | | |
| | トウヨシノボリ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 種数合計 | | 8 | 5 | 8 | 2 | 2 | |

※本業務、その他調査時に確認

〈甲殻類〉

| 科 | 種 | 牛頸川 1 (春日公園前) | 牛頸川 2 (春日野小前) | 牛頸川 3 (円入橋付近) | 諸岡川 1 | 諸岡川 2 | 備考 |
|----------|----------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|----|
| イワガニ | ○モクズガニ | | | ○ | | | |
| ヌマエビ | ○ミナミヌマエビ | ○ | ○ | ○ | | | |
| テナガエビ | スジエビ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| アメリカザリガニ | アメリカザリガニ | ○ | | | ○ | ○ | |
| 種数合計 | | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | |

〈貝類〉

| 科 | 種 | 牛頸川 1 (春日公園前) | 牛頸川 2 (春日野小前) | 牛頸川 3 (円入橋付近) | 諸岡川 1 | 諸岡川 2 | 備考 |
|-------|----------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|----|
| リンゴガイ | スクミリンゴガイ | | | | ○ | ○ | |
| カワニナ | カワニナ | | | ○ | ○ | ○ | |
| | サカマキガイ | | | | ○ | | |
| | ヒメモノアラガイ | | | | ○ | | |
| | ○モノアラガイ | | | | ○ | | |
| シジミ | シジミ属 | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 種数合計 | | 0 | 1 | 2 | 6 | 3 | |

注) 種名の○印は今回の調査で新しく生息が確認された種。

2) 溜池

①社池

水面の一部にはスイレンが広がっており、水際の池底には落葉が堆積している。魚類では、ギンブナとその稚魚が採集され、甲殻類では、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニが多く、スジエビは少なかった。貝類では、サカマキガイが採取された。その他の水生動物としてウシガエル（鳴き声を聞く）が生息している。

②春日貯水池

砂泥底の貯水池北側（**Ⓐ**）では、魚類のブルーギル、トウヨシノボリが採取されたほか、放流されたコイが見られた。甲殻類では、テナガエビ、貝類では、ヒメタニシ、イシガイ、シジミ属が採集された。

砂泥底の貯水池南側（**Ⓑ**）では、魚類のコイ（目視）、ブルーギル、貝類では、ヒメタニシ、イシガイ、シジミ属が採取された。特にイシガイは生息密度が高く、多い所では1㎡当たり16個体が得られた。

その他の水生生物としてイシガメが採集された。

③大牟田池

池西側（**Ⓐ**）は、一部に外来のハゴロモモとオオカナダモが繁茂しており、その間でブルーギルの幼魚が多く採集され、オオクチバス1尾が目視で確認された。そのほか色鯉が採集された。甲殻類では、テナガエビとアメリカザリガニ、貝類では、ヒメタニシ、カワニナ、タガイ（ドブガイ）、シジミ属が採集された。

池東側（**Ⓑ**）も、ハゴロモモとオオカナダモが繁茂しており、魚類では、ブルーギルとドンコが、甲殻類では、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニが採集された。貝類では、池西側の場合と同様に、カワニナが多く、タガイ（ドブガイ）、イシガイ、シジミ属が採集された。

貝類は池西側、池東側地点を通して5種の生息が確認され、調査した6箇所の溜池では、最も種類が多かった。その他の水生動物として、ウシガエル（幼生）が採集された。

④惣利池

調査範囲の一部は軟泥が厚く堆積し、水面に広がるヒシの下にはオオカナダモが群生している。これら水草の間をブルーギルの幼魚が群泳しているのが観察された。ここでは魚類のドンコ、貝類のヒメモノアラガイが採集された。砂～砂泥底の所では魚類のトウヨシノボリ、甲殻類のミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、貝類のサカマキガイ、シジミ属が採集された。その他の水生動物として、ウシガエル、アカミミガメが採集された。

⑤白水池

魚類では、ギンブナ、メダカ、トウヨシノボリ、甲殻類ではスジエビ、アメリカザリガニ、貝類では、サカマキガイが採集された。多かったのはスジエビとメダカで、メダカは水深 30 c mほどのヨシ群落の中とその周りで見られた。

⑥上散田池

水際に植えられたキシノウブの株間や水際の杭の所で、魚類のトウヨシノボリ、甲殻類のアメリカザリガニが採集されたが、貝類の生息は確認できなかった。今回の溜池調査では、魚介類相が最も貧弱な地点であった。

■表 23 魚介類調査結果（溜池環境）

（魚類）

| 科 | 種 | 社池 | 春日貯水池 | | 大牟田池 | | 惣利池 | 白水池 | 上散田池 | 備考 |
|---------|---------|----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|----|
| | | | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | |
| コイ | コイ | | ○** | ○** | ○ | | | | | 目視 |
| | ギンブナ | ○ | | | | | | ○ | | |
| メダカ | メダカ | | | | | | | ○ | | |
| サンフィッシュ | ブルーギル | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | オオクチバス | | | | ○** | | | | | 目視 |
| ドンコ | ドンコ | | | | ○ | ○ | | | | |
| ハゼ | トウヨシノボリ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 種数合計 | | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | |

※本業務、その他調査時に確認

（甲殻類）

| 科 | 種 | 社池 | 春日貯水池 | | 大牟田池 | | 惣利池 | 白水池 | 上散田池 | 備考 |
|----------|----------|----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|----|
| | | | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | |
| ヌマエビ | ミナミヌマエビ | ○ | | | | ○ | ○ | | | |
| テナガエビ | テナガエビ | | ○ | | ○ | | | | | |
| | スジエビ | ○ | | | | | ○ | | | |
| アメリカザリガニ | アメリカザリガニ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 種数合計 | | 3 | 1 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | |

（貝類）

| 科 | 種 | 社池 | 春日貯水池 | | 大牟田池 | | 惣利池 | 白水池 | 上散田池 | 備考 |
|--------|-----------|----|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|----|
| | | | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | |
| タニシ | ヒメタニシ | | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| カワニナ | カワニナ | | | | ○ | ○ | | | | |
| サカマキガイ | サカマキガイ | ○ | | | | | ○ | ○ | | |
| モノアラガイ | ヒメモノアラガイ | | | | | | ○ | | | |
| イシガイ | タガイ(ドブガイ) | | | | ○ | ○ | | | | |
| | イシガイ | | ○ | ○ | | ○ | | | | |
| シジミ | シジミ属 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 種数合計 | | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 | 3 | 1 | 0 | |

（その他）

| 科 | 種 | 社池 | 春日貯水池 | | 大牟田池 | | 惣利池 | 白水池 | 上散田池 | 備考 |
|-------|--------|----|-------|-----|------|-----|-------|-----|------|----|
| | | | (A) | (B) | (A) | (B) | | | | |
| アカガエル | ウシガエル | ○声 | | | ○幼 | | ○卵, 成 | | | |
| イシガメ | アカミミガメ | | | | | | ○ | | | |
| | イシガメ | | ○ | | | | | | | |
| 種数合計 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | |

5. 希少種

今回の調査で確認された環境省、福岡県のレッドデータブック掲載種は、植物 7 種、動物 12 種であった。平成 15 年度調査での確認種は、植物 4 種、動物 4 種であり、総じて希少種の確認種数は増加しているが、オニバス、ベニイトトンボの 2 種が今回の調査では確認できなかった。いずれも溜池の水辺に依存する種であり、水辺環境の単純化、冬季の乾燥など環境の劣化が懸念される。

(1) 植物

春日市で確認された環境省、福岡県のレッドデータブック掲載種（平成 15 年度調査及び今回調査）の状況を以下に示す。このうち、平成 15 年度に確認された種で、今回調査で確認されなかったものにオニバスが挙げられる。本種は一年草で、発芽の際に十分な光を必要とする。生育地として知られていた場所であっても、池干し等が行われなくなることによる水位変動の消失や、その他の種の優占による水面の被覆により、確認できなくなったという報告が各地でなされている。春日市の生育地である社池においても、生育環境の変化に伴い見られなくなったと考えられる。ただし、オニバスの種子は生命力が強く、溜池の底泥に残されていれば、池干し、耕起により再生する可能性は高い。

また、今回の調査で確認された種の中には、ミズマツバ、アオイゴケのように外部からの土の搬入や、緑化樹木の根鉢についていた土によりもたらされた可能性のあるものもみられる。これらは、保全対象とするよりも、園芸種的な取り扱いをする必要があると考えられる。

■表 24 春日市で確認された希少種（植物）一覧

| | 種 名 | 出現状況 | | 指定理由 | |
|----|-------------|---------|------|---------|---------|
| | | H15年度調査 | 今回調査 | 環境省RDB | 福岡県RDB |
| 植物 | オニバス | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| | モウセンゴケ | ○ | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| | ツクシナルコ | ○ | ○ | 絶滅危惧ⅠB類 | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| | カワヂシャ | ○ | ○ | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| | ミズマツバ | — | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |
| | アオイゴケ | — | ○ | — | 準絶滅危惧 |
| | ヒメコウガイゼキショウ | — | ○ | — | 絶滅危惧ⅠB類 |
| | ノグサ | — | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 |

①オニバス

平成 15 年度には社池で数株が確認されているが、今回の調査では確認できなかった。

②モウセンゴケ

春日貯水池で春季および夏季に確認。土手の水が滲み出している斜面で群生し

ているのを確認した。平成 15 年度に確認されたものが、現在も残存、維持されていることが確認された。適度な水の滲み出しと、定期的な採草が本種の生育に適した環境を保っている。

③ツクシナルコ

白水大池公園では春季に、3 株を確認した。惣利池では春季および夏季に 100 株以上の群落を確認した。平成 15 年に確認されている社池および大牟田池では確認されなかった。大牟田池については水際の全域を探索していないので、現在も生育している可能性はある。

④カワヂシャ

牛頸川 1 では春季に数株を確認した。春日公園では夏季に 1 株を確認した。平成 15 年度に確認された牛頸川の御潮井橋付近では、河川改修のためコンクリートが敷かれており、確認できなかった。消失したと考えられる。

⑤ミズマツバ

春日公園内で秋季に生育を確認した。

本種は水田雑草であり、公園内で稲作をする際に持ち込まれた土に起因する可能性が考えられる。

⑥アオイゴケ

春日公園内で秋季に生育を確認した。人為的攪乱の多い公園内での生育であり、移入等の可能性が考えられる。

⑦ヒメコウガイゼキショウ

清掃工場側の水田の畦で春季に 10 株を確認した。

⑧ノグサ

春日貯水池で春季に 100 株以上群生しているのを確認した。福岡県では生育確認場所が非常に少なく、希少である。

(2) 動物

春日市で確認された環境省、福岡県のレッドデータブック掲載種（平成 15 年度調査及び今回調査）の状況を以下に示す。このうち、平成 15 年度に確認された種で、今回の調査で確認されなかったものにベニイトトンボが挙げられる。本種は、水生植物の繁茂する比較的古い溜池に分布し、春日市では大牟田池、社池の 2 箇所で確認されていた。かつての環境情報として比較できるデータはないが、市内の溜池にはブラックバスやブルーギルなどの捕食者となり得る外来生物の侵入が報告されており、今回調査で確認できなかった理由として、これら生物の捕食も示唆される。

■表 25 春日市で確認された希少種（動物）一覧

| | 種名 | 出現状況 | | 指定理由 | |
|-----|-----------|---------|------|--------|---------|
| | | H15年度調査 | 今回調査 | 環境省RDB | 福岡県RDB |
| 哺乳類 | アナグマ | — | ○ | — | 準絶滅危惧 |
| 鳥類 | ミサゴ | ○ | ○* | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| | カササギ | ○ | ○ | — | 保全対策依存種 |
| | キビタキ | — | ○ | — | 準絶滅危惧 |
| | アオバズク | — | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 爬虫類 | イシガメ | — | ○ | 情報不足 | 準絶滅危惧 |
| 昆虫類 | ベニイトトンボ | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |
| | ハルゼミ | — | ○ | — | 準絶滅危惧 |
| | コムラサキ | — | ○ | — | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| 魚類 | メダカ | ○ | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| | ヤマトシマドジョウ | ○ | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |
| | オヤニラミ | — | ○ | 絶滅危惧Ⅱ類 | 準絶滅危惧 |
| 貝類 | モノアラガイ | — | ○ | 準絶滅危惧 | — |

※動植物相調査時には確認されなかったが、平成22年12月4日、白水大池公園での観察会で確認した。

①アナグマ

春日神社周辺において、秋季にアナグマのものとみられる古い巣穴と、周辺での掘り返し跡を確認した。当該地は春日市内でも数少ない自然林地区であり、現在でもアナグマの生息の可能性が高い。

②ミサゴ

動植物相調査時には確認されなかったが、平成 22 年 12 月に実施した白水大池公園での観察会の際に、飛翔中の 1 個体を確認した。本種は魚食性のタカの仲間であり、採餌のために訪れたと考えられる。

③カササギ

牛頸川 3 で夏季に 1 個体、白水大池公園で夏季に 1 個体を確認。牛頸川 3 では川に隣接する住宅地で夏季に 1 個体を鳴き声で確認した。白水大池公園では夏季に植栽された樹木にとまっている 1 個体を確認した。いずれも巣は確認していない。また、春季にはカササギは確認されず、各調査地点での営巣もみられなかった。

④キビタキ

春日市南部の樹林地内でさえずっている 1 個体を春季に確認した。当該地で繁殖していると考えられる。なお、現地調査では繁殖期には確認されていないが、白水大池公園は森林の規模が大きいため、キビタキの繁殖の可能性が考えられる。また、秋季には大牟田池、春日公園、白水大池公園、春日市南部の林地で確認しているが、これらは渡り途中に立ち寄ったものと思われる。

⑤アオバズク

春日神社周辺で春季の夜間に飛翔している 1 個体を確認した。当該地で繁殖していると考えられる。また、元宮公園、白水八幡宮、天神山水城跡の 3 地点は現地調査では確認されていないが、営巣木となり得る木の存在、樹林地規模より生息の可能性が考えられる。

⑥イシガメ

牛頸川 1 で夏季に 1 個体を確認した。近年イシガメは生息数が激減しており、河川中流域や市街地の溜池ではほとんどみられなくなっている。今回確認されたのは、大雨により増水した後だったため、上流域から流されてきた可能性がある。

⑦ベニイトトンボ

平成 15 年度調査では大牟田池、社池の 2 箇所を確認されているが、今回の調査では、いずれの地点においても生息確認できなかった。本種は水生植物の多様な水辺に生息する種である。植生状況の変化や捕食者となる外来生物の侵入などの環境変化が消失の原因となっていると考えられる。

⑧ハルゼミ

春季に白水池と大牟田池で鳴き声により確認した。本種はマツ林に生息するセミ類であり、マツ林であれば普通にみられる種である。

⑨コムラサキ

春日公園で夏季に 1 個体確認した。本種の食草であるヤナギ類がみられる環境であれば、比較的普通に生息している。

⑩メダカ

白水池で春季に多数の個体を確認した。後背部分の水深の深い場所には、ブルーギル、ブラックバス等、捕食者の魚影を確認しており、メダカの生息環境は当該地区に限られている。

この他、指標種調査において、春日公園でメダカが確認されている。

⑪ ヤマトシマドジョウ

牛頸川 3 の円入橋付近で秋季に 1 個体を目撃した。本種は水の比較的きれいな中流から上流に生息する種である。春日市内では個体数は少ないものの、平成 15 年度調査でも確認されており、同河川での個体群の維持が確認できた。

⑫ オヤニラミ

牛頸川 2 の春日野小学校前で、秋季に 1 個体を確認した。本種は抽水植物の繁茂する流れの緩やかな場所を好む種である。市内の河川にはこのような環境はほとんどなく、主要な生息地にはなっていないと考えられる。

⑬ モノアラガイ

諸岡川 1 の地点で秋季に確認した。河床に設けられた 80cm 四方の凹みが藻類の定着基盤や、流速の多様化をもたらす効果を生み出しており、本種の生息環境として機能していると考えられる。

6. 外来生物

外来種とは、もともとその地域にはいなかったものが、人間の活動を通じて他の地域から入ってきた生物種のことをいう。中でも地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるものを特定外来生物に選定し、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（外来生物法）の中でもその取り扱い等について厳しく規制している。また、特定外来生物ほど明確な被害に関する知見はないものの、その予備軍として留意すべき必要のある種を要注意外来生物として選定している。

春日市で確認された特定外来生物は、植物ではオオキンケイギク 1 種、動物ではウシガエル、オオクチバス、ブルーギル及び市の動物処理記録にあったアライグマの 4 種である。一方、要注意外来生物は、植物 30 種、動物 3 種に及ぶ。

植物では、法面緑化のために持ち込まれた種が多く、河川沿いや公園等の開けた場所に広く分布している。

動物では、河川、溜池等の水辺に生息する種がほとんどである。なお、アライグマについては、近年、筑紫野市や那珂川町などの近隣市町での侵入、繁殖確認情報が報告されており、春日市においても早期の対応が求められる。

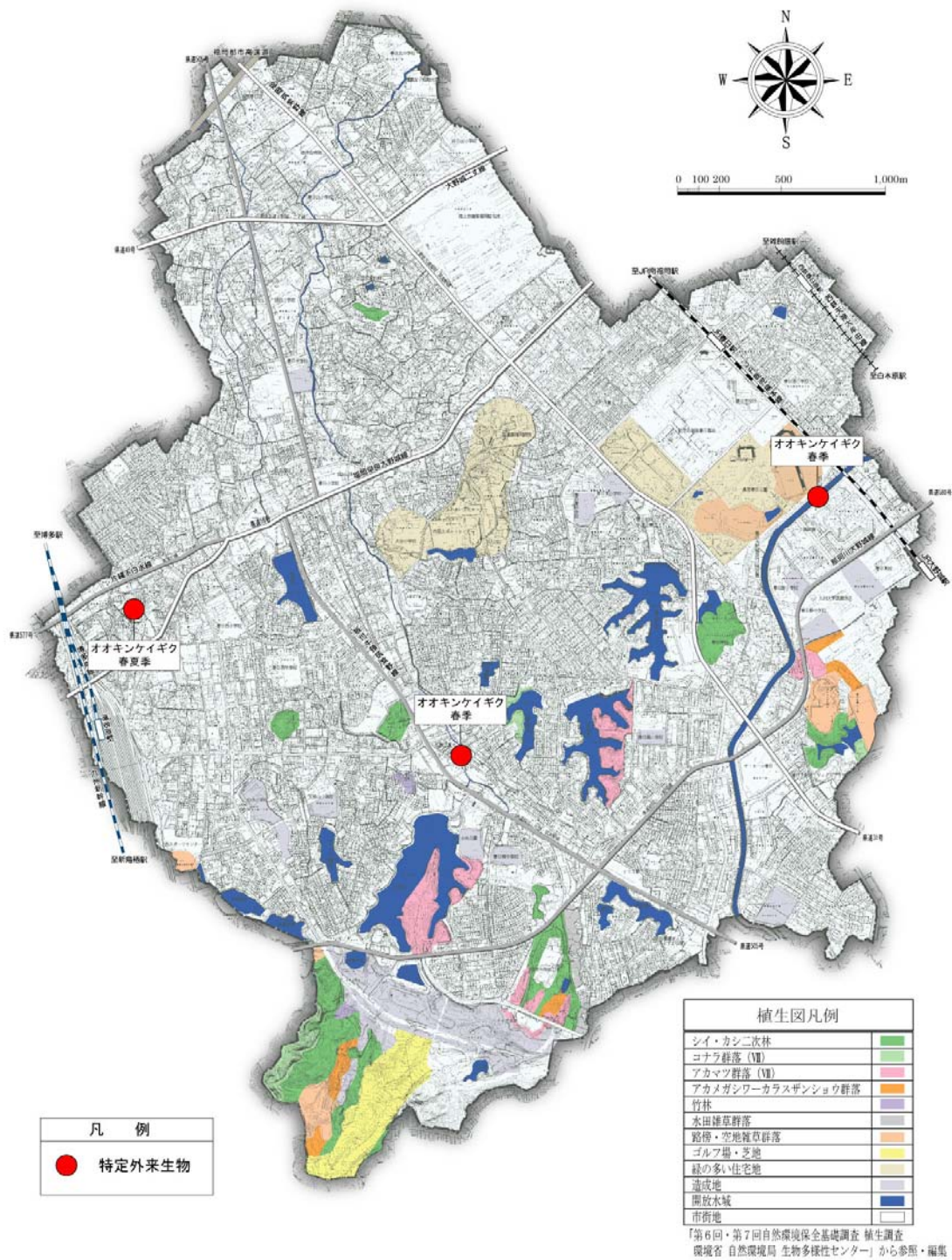
■表 26 春日市で確認された特定外来生物、要注意外来生物（植物）

| | 種 名 | 特定外来生物 要注意外来生物 | 確 認 地 点 |
|----------|------------|-------------------|--|
| 植 物 | ハゴロモモ | 要注意外来生物B | 7. 大傘田池 |
| | オランダガラシ | 要注意外来生物B | 2. 牛頸川2、3. 牛頸川3 |
| | ムラサキカタバミ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、6. 社池、7. 大傘田池、10. 上散田池、13. 春日公園、14. 白水大池公園 |
| | メマツヨイグサ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、8. 春日貯水池、9. 惣利池、11. 市役所駐車場及び道端、14. 白水大池公園、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮 |
| | コマツヨイグサ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、15. 元宮公園、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮 |
| | トウネズミモチ | 要注意外来生物D | 1. 牛頸川1、4. 諸岡川2、9. 惣利池、11. 市役所駐車場及び道端、13. 春日公園、19. 白水八幡宮 |
| | ヘラオオバコ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、10. 上散田池 |
| | オオブタクサ | 要注意外来生物A | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、7. 大傘田池、18. 春日市南部の林地 |
| | アメリカセンダングサ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、13. 春日公園、14. 白水大池公園、16. 春日神社、18. 春日市南部の林地、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | コセンダングサ | 要注意外来生物B | 3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、11. 市役所駐車場及び道端、16. 春日神社、18. 春日市南部の林地 |
| | ヒメムカシヨモギ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、13. 春日公園、14. 白水大池公園、15. 元宮公園、16. 春日神社、17. 天神山水城跡、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮 |
| | オオアレチノギク | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、6. 社池、7. 大傘田池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、13. 春日公園、15. 元宮公園、16. 春日神社、17. 天神山水城跡、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | オオキンケイギク | 特定外来生物 | 1. 牛頸川1、4. 諸岡川2、12. 日拝塚古墳 |
| | ヒメジョオン | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、6. 社池、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、13. 春日公園、14. 白水大池公園、17. 天神山水城跡、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | ハルジオン | 要注意外来生物B | 11. 市役所駐車場及び道端 |
| | ブタナ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、8. 春日貯水池、9. 惣利池、11. 市役所駐車場及び道端、13. 春日公園、14. 白水大池公園、15. 元宮公園、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | セイタカアワダチソウ | 要注意外来生物A | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、6. 社池、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、13. 春日公園、14. 白水大池公園、15. 元宮公園、16. 春日神社、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | アカミタンポポ | 要注意外来生物B | 11. 市役所駐車場及び道端、13. 春日公園 |
| | セイヨウタンポポ | 要注意外来生物B | 2. 牛頸川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、10. 上散田池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、13. 春日公園、14. 白水大池公園、15. 元宮公園、19. 白水八幡宮、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | オオオナモミ | 要注意外来生物B | 2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、14. 白水大池公園、18. 春日市南部の林地 |
| | オオカナダモ | 要注意外来生物A | 4. 諸岡川2、7. 大傘田池、9. 惣利池 |
| | キシウブ | 要注意外来生物B | 7. 大傘田池、9. 惣利池、10. 上散田池、14. 白水大池公園 |
| | ノハカタカラクサ | 要注意外来生物B | 3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、5. 諸岡川1、7. 大傘田池、9. 惣利池、10. 上散田池、13. 春日公園、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | メリケンカルカヤ | 要注意外来生物B | 1. 牛頸川1、3. 牛頸川3、6. 社池、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、9. 惣利池、11. 市役所駐車場及び道端、12. 日拝塚古墳、13. 春日公園、14. 白水大池公園、16. 春日神社、17. 天神山水城跡 |
| | カモガヤ | 要注意外来生物D | 2. 牛頸川2、10. 上散田池、12. 日拝塚古墳、14. 白水大池公園、17. 天神山水城跡 |
| | シナダレスズメガヤ | 要注意外来生物D | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、10. 上散田池、14. 白水大池公園 |
| | オニウシノケグサ | 要注意外来生物D | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、14. 白水大池公園、20. 清掃工場側の田んぼ |
| | ネズミムギ | 要注意外来生物D | 1. 牛頸川1、2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、4. 諸岡川2、7. 大傘田池、12. 日拝塚古墳、14. 白水大池公園、18. 春日市南部の林地、19. 白水八幡宮 |
| | ホソムギ | 要注意外来生物D | 12. 日拝塚古墳 |
| | キシウウスズメノヒエ | 要注意外来生物D | 2. 牛頸川2、3. 牛頸川3、7. 大傘田池、8. 春日貯水池、10. 上散田池、13. 春日公園、14. 白水大池公園、20. 清掃工場側の田んぼ |
| メリケンガヤツリ | 要注意外来生物B | 18. 春日市南部の林地 | |

・特定外来生物：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、取扱いが規制された生物、外来生物のうち特に生態系への影響が大きい種を、特定外来生物として指定している。

・要注意外来生物のカテゴリー

- 要注意外来生物A：被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物
- 要注意外来生物B：被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物
- 要注意外来生物C：選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物（他法令の規制対象種）
- 要注意外来生物D：別途総合的な取組みを進める外来生物（緑化植物）



■ 図3 春日市で確認された特定外来生物（植物）

■表 27 春日市で確認された特定外来生物、要注意外来生物（動物）

| | 種 名 | 特定外来生物 要注意外来生物 | 確 認 地 点 |
|-----|----------|-------------------|---|
| 爬虫類 | アカミミガメ | 要注意外来生物A | 1.牛頸川1、4.諸岡川2、6.社池、7.大傘田池、8.春日貯水池、9.惣利池、10.上散田池、13.春日公園、14.白水大池公園 |
| 両生類 | ウシガエル | 特定外来生物 | 1.牛頸川1、2.牛頸川2、6.社池、7.大傘田池、9.惣利池、10.上散田池、13.春日公園、14.白水大池公園、16.春日神社、18.春日市南部の林地 |
| 魚 類 | ブルーギル | 特定外来生物 | 7.大傘田池、8.春日貯水池、9.惣利池 |
| | オオクチバス | 特定外来生物 | 7.大傘田池 |
| 甲殻類 | アメリカザリガニ | 要注意外来生物A | 1.牛頸川1、4.諸岡川2、5.諸岡川1、6.社池、7.大傘田池、9.惣利池、14.白水大池公園、10.上散田池 |
| 貝 類 | スクミリンゴガイ | 要注意外来生物C | 4.諸岡川2、5.諸岡川1 |
| 哺乳類 | アライグマ* | 特定外来生物 | 原町2丁目（光町3丁目西鉄バス停付近） |

※動植物相調査時には確認されなかったが、市の動物処理記録で確認した。

・特定外来生物：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、取扱いが規制された生物、外来生物のうち特に生態系への影響が大きい種を、特定外来生物として指定している。

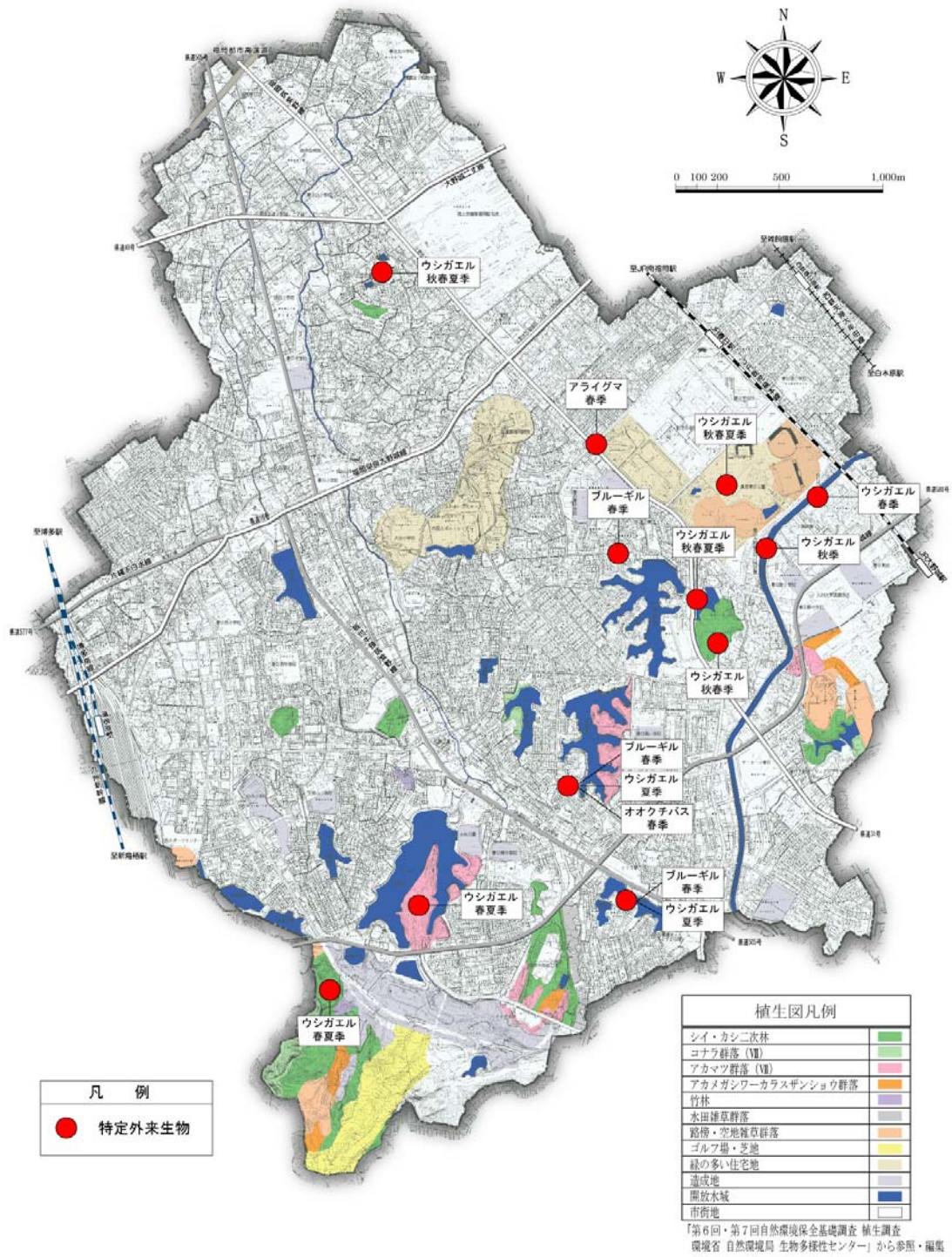
・要注意外来生物の 카테고리

要注意外来生物A：被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

要注意外来生物B：被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

要注意外来生物C：選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物（他法令の規制対象種）

要注意外来生物D：別途総合的な取組みを進める外来生物（緑化植物）



■ 図4 春日市で確認された特定外来生物（動物）

7. 春日市の自然環境の総括

福岡都市圏の中心に近い立地を占める春日市では、「自然環境（生態系）」は限定的で二次的なものであり、本来の構成より貧化したものとなっている。しかし、一部では春日神社等の自然性の高い樹林地や、オニバス、ツクシナルコなど地域性のある重要種、比較的自然性が高い河川（牛頸川）、シンボリックな大径木がみられ、保護すべき要件がみられる。

また、溜池周辺を中心とした、自然とのふれあいのための価値ある資源が残存しており、これらの特性を活かして住環境や子どもの育成環境の整備に取り入れることが望まれている。この要求は自然環境資源の限られた春日市ではより切実である。ただし、限られた自然であっても、アカトンボ類、カエル類、鳥類など普通種の生息環境など、不足環境を多少補うことによって、自然とのふれあいの場の質を格段に向上させ、地域の生態系の底辺を広げることができる。

（1）現存する重要な生物資源について

保護すべき重要な資源には以下のものが挙げられる。

①森林・樹林地、森林の動植物等

- ・照葉樹自然林（ミミズバイースダジイ群集）

九州では瀬戸内側を除く概ね 300m 以下の沿海地～低山に成立する。極相スダジイ林（原生林）の構成をとどめ、ミミズバイ、シロバイなど照葉樹の多様性が高い。本群集は九州北部ではほとんど残存していないこと、また、人為的に管理された社叢としてではあるが、シロバイやイチイガシなどの種がみられ、イチイガシ群落との共通種の存在など、学術的にも興味深い群落となっている。

最も典型的な樹林地として、春日神社社叢に自然性が高い群落がみられ、他の社叢林にも、下層は整理されたものが多いが、高木層に類似した構成種を持つものがある。これらについても調査を行うとともに、次世代木の育成などを検討する必要がある。春日神社社叢や、社池付近の二次林も構成種が類似し、観察に適する。

- ・大径木・保存樹木

市内には保存樹木として、18本が指定されている（平成23年時点）。

- ・アオバズク

春日神社社叢に渡来することが知られる。営巣は樹洞で行われ、大型のガなどの昆虫を捕食する。

- ・ナギ、エンジュ、オオバヤドリギ、センリョウなど地域のシンボルとなる樹木等

住吉神社のナギ林は「住吉神社のナギの杜」として県指定天然記念物となっている。生育本数が多く、平地に茂る様は独特の景観となり、この木を尊ぶ伝承の背景も加えて大変貴重なものといえる。エンジュは移入と考えられるが、歴史的、

シンボリック的価値が高く、春日小学校のものが市指定天然記念物となっている。オオバヤドリギは、関東南部以南～琉球、中国に分布するが、多いものではなく、希少性のある植物で、着生の奇観とともに観賞価値の高いものとなる。熊野神社境内のものが市指定の天然記念物となる（他の分布状況は不明）。センリョウは種自体としての重要性は一般に高くないが、春日神社では「春日神社のセンリョウ叢林」として県指定天然記念物となっており、保護が必要とされている。

②湿地、湿生植物

・ツクシナルコ

主として九州の平地湿地に稀にみられるもので、希少性が高い。広く分布する類似種アゼナルコとは果実によって区別できる。

平成 15 年度調査では、ツクシナルコは社池、大牟田池、白水池の 3 地点で確認されている。また、今回の調査では白水池、惣利池で確認している。

・抽水植物群落

春日市には溜池が多いが、浅い湿地となる環境は、堤防整備、改修、埋立て等で少なくなっており、保存および質の回復、地点の増加、機能の回復が望ましい。トンボ類、両生類の生息環境となるなど、他の動物の生息環境の確保の観点からも重要といえる。

・ヒクイナ

地域にはヒクイナの生息が知られるが、水田の減少、冬季の生息地となる溜池の埋立て等により、市内の生息地は危機的な状況とみられる。周辺地区にも生息することから、分散・移動時に必要となる小さな島状の湿地についても、価値を認め、保全を行うことが望ましい。

③河川

・牛頸川

河川中流の清流環境が残される。川幅と勾配はやや単調で、出水時の魚類の逃避場所となるよどみが生じにくい。礫底、砂底などの底質の多様性、早瀬と平瀬、浅い淵等の流れの変化、若干の蛇行も生じ、好ましい景観となっている。小学校等に隣接する部分があり、親水護岸や、一部河川沿いに植樹帯も設けられている。

・諸岡川

水量が少なく、出水による攪乱の少ない小河川である。白水大池公園北付近の本来の河川形態は適度な栄養が流れ込み、ゲンジボタル、カワセミなどが生息するような中流型であるが、現在は水田隣接部の一部を除き、住宅地の中を流れる 3 面張の水路となっている。毛勝児童センター付近では親水的な護岸工がなされ、カワセミも多く、ゲンジボタルの生息が可能となるかもしれない。

④溜池

比較的多様なトンボ相が残存することが平成 15 年度及び今回の調査で確認されているが、生息状況は必ずしも安定したものではなく、環境の修正が強く望まれる。

湿生植物では、平成 15 年度の聞き取り及び資料整理により、オニバス（社池・過去にあった）が挙げられている。オニバスの種子には休眠性があり、生存期間は非常に長い。各溜池の改修等に当たっては埋土種子の確認と活用が強く望まれる。

今回の調査地点では、抽水植物群落、矮生湿生植物群落などがわずかに残存するが、その面積は非常に小さく、特に抽水植物の茂る浅い立地や湿地が、開放水面の広さと比べて大幅に少ないことが確認された。これが水生生物、水鳥の生息の制限要因となっているとみられた。

写真 重要な資源の例



「春日神社のクスノキ」



アオバズク（資料写真）



牛頸川（河川中流域の清流）



溜池（社池）
現在は移入されたスイレンが茂る



左：大牟田池の抽水植物群落。広がりは一地点が最大規模となり、ヒクイナ等の生息が困難。
 右：春日公園の調整池は市内では貴重な低湿地となり、生息環境としての修正が望まれる。



左：矮生湿生草本群落（アオガヤツリなど）。中央の緑の薄い部分のみ。白水池。
 富栄養化で水田雑草が増加、乾燥化なども加わると外来種であるメリケンムグラが繁茂する。
 右：熊野神社の「オオバヤドリギ」希少性もあり、寄生する様子は観賞価値が高い。



「住吉神社のナギの杜」特徴的な景観となる。
 「住吉神社のナギの杜」漁師の間で尊ばれるナギ。

(2) 自然観察に適する地点、特徴的な地区

①鳥類観察

春日公園は鳥類の観察に適する。特に日本庭園付近には、水場、林縁環境や、豊富で特徴的な樹種（ヤマガラが好むエゴノキなど）がみられ、鳥類相も多様であった。

また、河川環境では、カワセミ、サギ、セグロセキレイなど、シンボリックな種が多く、自然観察やふれあいの場として、質の良い資源であることが確認された。

②森林、社叢、大径木

地域的に特徴がある社叢がみられ、春日神社の社叢と巨木群のほか、熊野神社、白水八幡宮、住吉神社などは、成り立ちと着目点を整理すれば感銘を与える自然資源となり得るとみられた。自然観察のルートとして、植生的に興味深い「社叢と群落の観察地点」などにこれらをあてることができる。

③水生植物

ツクシナルコなど特徴的な植物を観察できる地点は少ない。抽水植物群落に比較的近づきやすいのは、大牟田池、満水時の白水池などであった。社池のオニバス（埋土種子）の春日公園への導入なども検討できるように思われた。また、ツクシナルコ、オニバスを多様性のシンボルとして、学校教育でも利用することができる。

春日公園の調整池はヒシ、キシユウスズメノヒエが茂り、現在はフェンス設置のため立ち入れないが、利用価値のある環境である。また生物の生息環境としての修正、整備も日本庭園の池を含めて望まれる。

溜池は全体的に平地辺縁部に位置し、ヨシ帯等の抽水植物群落が成立しやすい立地であるが、溜池の埋め立てが比較的浅い池を中心に進んだことなども関係し、浅い沼状の溜池、また明るい開放的な抽水植物群落が圧倒的に不足している。開放水面にカモ類は飛来するものの、植生帯を好むヒクイナ、バン等の水鳥が少なく、若干の環境の修正がなされることが、本来の生息環境を維持する観点から望まれている。

④昆虫観察

トンボ類は普通種でも多くなく、特に冬季にも湿潤な湿地環境の必要なアカネ類の繁殖場所が少なく、こうした立地の創出が望ましいとみられた。アカネ類が比較的多かったのは、春日公園日本庭園付近（田んぼビオトープと池部）、白水大池公園の右岸入江林縁付近などであった。

⑤魚類等観察

水生生物は子どもの狩猟本能や好奇心を満たす上で魅力的な対象である。牛頸川には、食味も良いオイカワが多産するほか、形態的に興味深いカマツカ、美しく観賞価値の高いヤマトシマドジョウ（清流性で一般の飼育は難しい）などが生息する。また、清流性のコオニヤンマなどのヤゴがみられ、重要な自然体験の資源となる。